

小学教科书字解

第二三学年用  
第四学年用

特54

935

尋常小學讀本  
尋常小學修身書

小學教科書字解

第一、三學年用

3  
542

25-58

教育研究會編纂

小學教科書字解

第一三學年用

44.4.1

尋常小學讀本字引目次

卷三

一、サケラ……………一  
二、コレガ スンデ カラ……………一  
三、ノアソビ……………一  
四、ワタシ ノ ウチ……………二  
五、ノミノ スクチ……………二  
六、ヒバリ……………二  
七、なぞ……………三  
八、うじ さ うま……………三

九、こらま……………三  
十、タケ……………四  
十一、タウエ……………四  
十二、ほたる……………四  
十三、がくかう へもつて いくもの……………五  
十四、うさ からす……………五  
十五、ミギ ト ヒダリ……………五  
十六、四方……………五  
十七、ほしとり……………五  
十八、かへる……………六  
十九、かへる き くも……………六

目次

二十、ハイ今スゲニ……………六  
 二十一、虫ボシ……………七  
 二十二、うみ……………七  
 二十三、かひ……………七  
 二十四、ウラシマノハナシ(一)……………八  
 二十五、ウラシマノハナシ(二)……………八  
 一、私どものまち……………一  
 二、山の上の見はらし……………二  
 三、十一月三日……………三

卷四

四、カキトクリ……………四  
 五、ふじの山……………五  
 六、ふじのまきかり……………六  
 七、手のゆび……………七  
 八、アキナヒノアソビ……………八  
 九、きつねとのぎく……………九  
 十、こくもつ……………九  
 十一、ワラ……………一〇  
 十二、サザエノシマン……………一一  
 十三、のこ……………一二  
 十四、さけい……………一三

十五、さけいのうた……………一三  
 十六、ナツ……………一四  
 十七、白ウサギ(一)……………一四  
 十八、白ウサギ(二)……………一四  
 十九、雪のあき……………一六  
 二十、うぐひす……………一七  
 二十一、子ドモノ心……………一七  
 二十二、母の心……………一八  
 二十三、ロナマツ……………一九  
 二十四、なすのよ(一)……………二〇  
 二十五、なすのよ(二)……………二一

卷五

第一、あきのいばき……………一  
 第二、春が来た……………二  
 第三、神武天皇……………二  
 第四、水のたび(一)……………三  
 第五、水のたび(二)……………四  
 第六、ナラノ大アツ……………四  
 第七、コヒ……………五  
 第八、母の手つたい……………六  
 第九、かまねすび……………六

目 次

第十、うめぼし……………七  
 第十一、茶……………八  
 第十二、蝶……………九  
 第十三、小千部のすが子……………一〇  
 第十四、ていしやば……………一一  
 第十五、汽車ノタビ……………一二  
 第十六、かみなり……………一三  
 第十七、瓜……………一三  
 第十八、コウモリ……………一四  
 第十九、炭ト油……………一五  
 第二十、蟲のこゑ……………一六

第四、ガン……………五  
 第五、取入れ……………六  
 第六、物サシトマストハカリ……………七  
 第七、かしこい子ども……………八  
 第八、ヤクアントテツピン……………九  
 第九、よいでつち……………一一  
 第十、織物……………一二  
 第十一、太郎の日記……………一三  
 第十二、京都からの手紙……………一五  
 第十三、ユトラザ……………一六  
 第十四、豊臣秀吉……………一八

四

第二十一、はがき……………一六  
 第二十二、マツリ……………一七  
 第二十三、鹿ノ水カガミ……………一八  
 第二十四、ひよどりこゑのなかとこ(一)……………一九  
 ………………一九  
 第二十五、びよどりこゑのなかとこ(二)……………二〇  
 ………………二〇

卷 六

第一、日本……………一  
 第二、四季……………三  
 第三、遠足……………四

第十五、豊臣秀吉……………一九  
 第十六、鹽ト砂糖……………二一  
 第十七、上杉謙信……………二二  
 第十八、人のなさけ……………二三  
 第十九、熊……………二四  
 第二十、材木……………二五  
 第二十一、古机……………二六  
 第二十二、むれ上げ……………二七  
 第二十三、港……………二八  
 第二十四、大坂……………二九  
 第二十五、かぞへ歌……………三〇

尋常小學修身書字引目次

第三學年

だい一、	.....	一
だい二、	.....	一
だい三、	.....	二
だい四、	.....	二
だい五、	.....	二
だい六、	.....	三
だい七、	.....	三
だい八、	.....	三
だい九、	.....	四
だい十、	.....	四
だい十一、	.....	五
だい十二、	.....	五

だい十三、	.....	五
だい十四、	.....	六
だい十五、	.....	六
だい十六、	.....	六
だい十七、	.....	七
だい十八、	.....	七
だい十九、	.....	八
だい二十、	.....	八
だい二十一、	.....	八
だい二十二、	.....	九
だい二十三、	.....	九
だい二十四、	.....	〇
だい二十五、	.....	〇
だい二十六、	.....	〇
だい二十七、	.....	〇

教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學讀本卷三

尋常小學讀本卷三字引

一、ツクテ 日本ツクテアリマス  
 ナガ一パイニサイテキルノハ、キレイデアアル、ソシテ  
 ノヤウナ、キレイナノハ、ヨソノクニニハ、ナイノ

○上 ツツミテド ○一 イチ イツ ○山 ヤマ ○白 シロ ○木 キ ○日本 ニッポン

二、コレガスンデカラ マサチノ、ペンキヤウナ、コトチ、ノ、ペタノデアリマス。

○目 メ ○マ マ ○サ サ ○ラ ラ ○ナ ナ ○マ マ ○ヘ ヘ ○本 ホン ○ウ ウ ○ツ ツ ○ク ク ○シ シ ○イ イ ○ナ ナ ○小 コ ○ト ト ○リ リ

三、ノアソビ マサチトモキチ、オハナノ三人ア、ノハラデ、ハナツミチテ、ソレデハナタバチコシラヘマシタ。

○三 さん ○人 にん ○中 なか ○レ レ ○ン ン ○ゲ ゲ ○ハ ハ ○ナ ナ ○イ イ ○ロ ロ ○あ あ ○た た ○か か ○い い ○日 ひ ○あ あ ○さ さ ○い い ○川 かわ ○た た

○ハ ハ ○ナ ナ ○タ タ ○バ バ ○ラ ラ ○三 さん ○イ イ ○ロ ロ ○あ あ ○た た ○か か ○い い ○日 ひ ○あ あ ○さ さ ○い い ○川 かわ ○た た



かい木

○くろい土

○小さな

○大きな

四、ワタクシノウチ

ワタクシノ、ウチノヤ  
ウスチノベテアサマス。

○一人

○三人

○一ばん上

○犬

○人

○オルス

○中

○木

○上

○月

○とや

トリノヤス  
ムトコロ

五、ノミノスクネ

ノミノスクネトイフ人がダイマノケハヤトイフヒトト、スマ  
フチトリテ、ヒトケリテケタフシタコトチカイダノデアリマ  
ス。

○ダイマノケハヤノナ

○人

○日本中

○一人

○天子

○サマ

○ノミノスクネノナ

○スバシコイ人

○イ人

○一ケリ

○一ト

六、ヒバリ

ヒバリハ、ノホルトキハ、スカラスガ、トビダシマスガ、オリトキハ、ス  
ノアルトコロニハ、オリマセン、コレハ、スノアルトコロチ、ヒトニシラ  
サヌタメマス。

○ムキノホノ上

○サヘツツテ

○上リ

○上ツテ

○子ヒバリ

○中

○二つ

○二つ

○三本

○る本

○四つ

○子

ども・○五にん

七、なぞ

コレハ、タマゴデアアル、コノコトサ  
アテサセヤウトイフノデアリマス。

○口

○目

○耳

○手

○私

○二つ

○中

八、うしとうま

ウシト、ウマトチ、クラベテ、ソノカタチ  
カラ、ハタラキマテチタノデアリマス。

○牛

○たてがみ

○足

○太く

○力

九、こうま

コドモガ小馬ニ、ノツテユクト  
コロノ、シヤウカデアリマス。

○小馬

○山

○足

○走れ

十、タケ

タケノコノ、ノビカタノハヤイノト、タケノイロイロヤクニタツコトチノベタノデアリマス。

○四五日

○私

○二三日

○竹

○作ツタ

○竹馬

○コクキ

○舟

十一、タウエ

ノウカノ人タチガ、タウヘチスル、ヤウスチイフタノデアリマス。

○マダハ

○入レテ

○イク人

○ホウネン

○小グサ

○米

十二、ほたる

ホタルハ、クライトコロデハ、ヒカツテミエマサガ、アカルイトコロデハ、ミエナイノデス、マサチハコノコトニキガツカナイノデ、父ニキイタノデ、ヨカリマシタ。

○母

○光

○光つて

○父

十三、がくかうへもつていくもの

ガクカウニ、ユクニハ、ホム、アデ、ナドチモツテユクコトチラスレテ、ナラナイガ、モツタイセツチノハ、目ト耳ト口トテストイツテ、ヨクキチケツヨトイマシメタノデス

○行き

○目

○見せて

○耳

○言ふこと

○口

十四、うとからす

ウトイフ鳥ノ川ノナカニモグリテサカナチクハへ出スノチ、カラスが見テ、オレモ一ツヤツテ見ヨウトシテトウ／＼ヤリソコネタコトチカイタノデ、人マネスルナトイフイマシメタス。

○今

○ういて出ます

○心もち

○川の中

十五、ミギトヒダリ

ミナモトノヨシイヘガ、ケライノスワリバシヨチ右ト左トニワケテ、テガテチタテサセタノデアリマス。

○行つた

○右

○左

○方

十六、四方

東西南北、ハウガクチシラセ。ルタメニカイタノデアリマス。

○上る方のぼるほう ○東ひがし ○エフ日ひ ○西にし ○手て ○南みなみ ○北きた

十七、ほしとり ホシヲトラウト、スルコトハデアキナイコトデス、ソレヲトラウトスルノハバカナコトダトイフコトデス。

○男おとこ ○思ふおもふ

十八、かへる カヘルハ、チカニモ、ホノナカニモ居ルコトガデキルモノデス、ソレヲレデアコレナリヤウハウニスムコトガデキルモノトイヒマス。

○大おほきな ○目め ○見みむき ○小ちひさな ○虫むし ○思おもひだしたやう ナニカカ  
○又また ○下したへ ○出でて ○足あし ○犬いぬ ○居ゐる ○出でる  
ヤウニ ンガヘタ

十九、かへるとくも カヘルト、クモトガ、ドチラモコラヘノテラガオモフトホリニシトゲタコトチカイタノデス。

二十、ハイ今スグニ コレハ、ヨクイフ、シリノオモイ子ノコトチイフタノデス、ナンデアモヨウチイヒツケウレダラスグニタツテハタラカガヨイノデス

○何なに ○言いヒツケ ○今いま ○行いキマセン ○早はやク

二十一、虫シ ドヨウホシトモイヒテ、ナツノコロ、キモノナドヲホスコトデス、コレハ、ドコノウチアモシマス。

○今日けふ ○赤あかイ ○私わたくし ○ムラサキ色いろ ○ユキバ チガ  
○タケサ チガ

二十二、うみ ウミノナカニ、舟ヤ、キセンが見エルケシキト、アミサヒクサマトガカイテアルノデス

○水みづ ○青あお青あお ○青あおぞらんテ ○今日けふ ○舟ふね ○ああささ トホクノウ ○走はしつて

○左ひだりの方ほう ○魚うを ○女おんな ○大おほぜい ○出でて ○行いつて ○小こ石いし  
二十三、かひ 貝ニイロノタケヒアルコトチノヘタノアリマス。

○貝かひ ○合あふ ○貝かひがら ○かたつむり ダイボロ ○うづまま ウツノヤ  
○私わたくし ○貝かひざいく 貝デイロノモ ○賣うる ○買かつて

二十四、ウラシマノハナシ(二)

ウラシマ太郎が、リュウグウへ行ツテ、オト  
ロメサマニ、ダイソウ、カハユガラレタコト  
チノオモタノアス。

○太郎タロウ

○出テデ

○子ドモコドモ

○思ツテオモツテ

○二三日ニニチ

○リュウグウリュウグウ ナカニ

アルリツバ  
ナゴテン

○門カド

○居テイデ

○來タキタ

二十五、ウラシマノハナシ(二)

ウラシマ太郎ハ、リュウグウカラカヘリニ、オト  
ロメサマカチ、ワカレノシルジニ、オチモラツテ、  
カヘリマシタ、カヘリテ見ルト父母ハオチロシ、ト  
モダチモキマセン、ソレテカナシクテ、ソノオチ  
アケテミタラ、中カラ白イケムガ出テツアハ、キ  
フニ、オチイサンニナリマシタ、ソレマデハ、ワカ  
イヨイナトコデシタ

○毎日マイニチ

○オナゴリヲシイ

○オ上ゲオウゲ マウシマセウ

○海ウミ

○父チチ

○母ハハ

○知ツテチツテ

○一人イチヒトリ

○何ダカナニダカ

○中カラナカカラ

○白イシロイ

尋常小學讀本卷三字引終

教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學讀本卷四

尋常小學讀本卷四字引

一、私わたしどものまち

ツブンがツブンノスンデ井ルマチノヤウス  
チヒトニオシヘルヤウニカイタノデス。

私わたしども

ワタケ  
シタチ

町まち

中なかはご

マンナ  
カゴロ

ふでやかみを

フデダノカ  
ミナドチ

○賣る

○みせ

アキナヒチ  
スルウチ

○本ほん

○賣る

○うち

イト

○さ

んじよ

チカ  
ク

○西にしごなり

ニシニアタ  
ルトナリ

○やくば

マチヤムヲチオ  
サメルトコロ

○ま

むかひ

マツスガ  
ノムカフ

○けいさつしよ

ワルモノチトリ  
シマルトコロ

○北きた

○行く

○左ひだり

がは

○い**う**びんきよく

イウビンチトリ  
アツカフトコロ

○すぢむかひ

アイム  
カヒ

○大おほ

まな

○ごふくや

タンモノチ  
ウルミセ

○町中

マチノ  
ウチ

○二いばん

○にぎやか

な トリヒキノ  
 サカンナ  
 ○村  
 ○人人  
 タチ  
 ○毎日  
 ○やさい  
 タベモノノナマヘ  
 ナヤダイコンナド  
 トノコ  
 ○すみ  
 ヒニオコ  
 ○たきざ  
 モヤス  
 ○馬  
 ○くるま  
 ニゲ  
 ○賣り  
 ○又  
 ○きれ  
 モノ  
 ○こまもの  
 ハリ、イトマ  
 キナドノコト  
 ○買  
 つて

二、山の上の見はらし

タロウシロウトフタリデヤマニノボツテジブンノスシ  
 デ井ルマチサミオロシテハナシチシタコトガカイテア  
 ルノデス。

○太郎  
 ○次郎  
 ○二人  
 ○山  
 ○にいさん  
 ノコト  
 ○見る  
 ○町  
 ○一目  
 ○うち  
 シブン  
 ○高い  
 ○火の見  
 クワシノトキニカネチヤ  
 タイテシラセルトコロ  
 ○はしご  
 ノボツテイクタメニダ  
 ○白い  
 ○かべ  
 イヘニヌツ  
 テアルカベ  
 ○あひ  
 オモイツ  
 わたくし

がつて マガツテ井ルヤウス  
 ○川むかふ  
 カハノム  
 ○木  
 ○しげつて  
 タケ

ハエテ井  
 ルヤウス  
 ○八まんさま  
 ヤシロノ  
 ○もり  
 キガタクサンハエテカ  
 ○今  
 ○

くるま  
 シンリキ  
 ○長い  
 ○人  
 ○五人  
 ○いいえ  
 ○六人  
 ろくにん

○一人  
 ○二人  
 ○三人  
 ○四人  
 ○五人  
 ○入れる  
 ○六

人  
 ○方方  
 アチラ  
 コチラ  
 ○雨  
 ○下り

三、十一月三日  
 ぢういちがつみつか  
 イマノテンシサマノオウマレナサレタオメデタ  
 イテンチヤウセツノコトガカイテアルノデス。

十一月三日  
 ○一年中  
 イチネン  
 ノウチデ  
 ○コトニ  
 サラ  
 ○日  
 ○ドンナウチ

アキナヒチスルウチデモ、  
 ノウギヤウチスルウチデモ  
 ○日ノマル  
 ○コクキ  
 シノハタ  
 ○アサ日  
 ノアサ

サマ ○カガヤイテキル ヒカツ ○イサマシイ ツチサウニミ ○天長セツ てんちやう  
 ○シキ オイハヒチスルタメニ ○チヨクゴ テンシサマガオツシヤツ ○一シヨ いちじよ  
 ○君がよ マノミヨ ○ちよにやちよに センネンモマンネンモヒ ○  
 さざれ石の チヒサイ ○いはほ オホキナエツ ○こけのむすまで ソノユラ  
コケガイツバイハエテケルマテツクテシヤウ

四、カキトクリ

カキトクリノコトニシイテオモシロイコトガカイテアルノデス

○カキ タベモノ ○木 キ ○二本 にほん ○今年 ことし ○ラレル ケル ○ナツ なつ  
 テ ツイ ○一本 いっほん ○キザハシ カキノ ○毎日 まいにち ○來マス くる ○古イ ふる  
ヨゴ ○カサ ヒトノアタマ ○モモヒキ ヒトガアシニハ ○カカシ トリチオド  
レタ ○カサ ニカアルモノ ○見ル ミ

○シブタキ シブイ ○サハサナケレバ シブナカ ○去年 こぞ ○クシガキ クシ  
ホシタカキ ○作り つく ○山 ヤマ ○クリ タベモノ ○林 はやし ○ジブン トキ  
 ○毎アサ まいあさ ○早ク はや ○行ツテ い ○見ル み ○五十ホド ごじゅう ○中 なか ○ドング どんご  
ユデテ チヌク ○タベテ タベ ○クリ林 はやし ノハヤシ ○下 した ○ふじ ふじ ○  
キノナ ○五六本 ごろくほん

五、ふじの山

フジサンノリツバナヤウスナホメタウタデス。ミナサンガウタフノニチヤウドヨイウタデス。

○雲 クモ ○上 うへ ○出し だし ○四方 しやう ○見 み ○下 した ○ふじ ふじ ○  
サンノ ○日本一 にっぽんいち イチバン ○山 ヤマ ○青ぞら あおぞら イアナイソラ ○高く たかく ○  
コト そびえたち タカイ ○からだ フジノヤ ○雪 ゆき ○きもの キノ ○か か

すみ ホシヤリミエルカ、  
ミエナイヤウナモノ

○すそ

カスミノヤウスガキモノ  
スソニニテ井ルノナイフ

○日本一 にっぽんいち

六、ふじのまきがり

ムカシミナモトノヨリトモトイフタイシヤウノケライ  
デニタンノシロウタダツネトイフサムライガフツノマ  
キガリテテガラナシタコトガカイテアリマス。

○昔 むかし

○みなもとのよりとも

ツチイサムライデミナモ  
トノヨシツネニヒサン

○けらい ツカハレテ井  
ルサムライ

○すその オホセイイ  
サムライ

ヤマノヒククナツテ  
ヒロクナツタトコロ

○まきがり

オホセイイデケモ  
ノチトルコト

○大せいのもの おほ

○下 した

○まぢかまへて

マツテ  
イテ

○高い たか

○来る

○けもの

○弓 ゆみ

○いとつた

ユミノヤデコロ  
シテトルコト

○日 ひ

○えもの

○三日目 みつかめ

○くれがた

ヒノケレ  
ルトキ

○矢 や

○のしし

○のしし

○上 うへ

○方 ほう

○居る

○来 き

○牛ほど うし  
サシク

○大きな

○きば スルドイ  
ハノコト

○出る だ  
タチカラソ

○よな ハナカラ

○あ

くして ハゲシク  
ダスコト

○土けむり

○早くて

○とても

○弓矢 ゆみや

○時 とき

○にたんの四郎 しろう

ただつね ヨリトモノケライ  
テツヨイサムライ

○ぶし

○馬 うま

○てお

ひじし キズノツ  
イタシシ

○とびうつりました

トンデノリ  
ウツルコト

○ますます

○あ

ばれて アレル  
コト

○を い  
シノチ

○思ふ

○刀 かたな

○五刀 いつかたな

○六刀 むかたな

○ご

つと イノシシノダ  
チレルヤウス

○早い はや

○一ごう いち  
ミン

○こる

オホセイイサム  
ライノコエ

○山 やま

もくづれるほど オホセイイノサムライノコエ  
テヤマモクヅレルバカリ

七、手のゆび

ヒトノユビニツ  
イテノオハナシ。

○オヂイサン

○次郎 じろう

○手 て

○名ヲ

○知ツテ

○一バン いちばん

○太イ おほ

○オヤユビ ユビノ  
ナマヘ

○小サイ

○小ユビ ユビノ  
ナマヘ

○マン中 まんちゆう

○高イ かた



- 中エビ エビノ ナマヘ
- 高高エビ エビノ ナマヘ
- 二本 ほん
- 次郎 つぎ
- 人サシユビ
- クスリユビ ユビノ ナマヘ
- 次郎 じらう
- ウチ シロウノウ チチイフ
- 五人 ごにん
- カタ手 カタホ ウノテ
- 同ジ おな
- 太ツテ おほ
- 力 ちから
- 大キイ おほ
- セイ
- 三郎 さぶらう
- ニツコリ ウレシツウニ ヲラウヤウス

八、アキナヒノアソビ オマツトオトミノフタリガモノノウリカヒノマ  
ネテチシテアソンダコトガカイテアリマス。

- アキナヒ シヤウ バイ
- 店 みせ
- 糸 いと
- 一カケ ひと イトノマトメテアルノハヒトツフダ  
ツトユハズニヒトカケフタカケトイ
- 出シテ
- 三セン さん
- 五カケ いつ 見セテ
- 太イ おと
- 細イ ほそ
- 出シテ
- 五セン ご
- 三セン五リン さん
- 二本 ほん
- 紙 かみ
- 十 じゅう 五セン
- 七セン
- 二十二セン にじゅうに
- 白イ しろ
- 三ツ みつ
- 出シテ
- 三十セン さんじゅう
- 毎ド まい

タビタビト  
イフコト

九、きつねどのぎく アルノハラデキツネトノギクトガオモシロイ  
オハナシチシテ井ルコトガカイテアルノデス。

- 北かぜ きた キタノハサカ
- のぼら のぼら 井ルハラ
- 大てい おほ ナ
- 虫も むし
- 死んで し ○一ぴき ひとつ
- きつね きつね ナマヘ
- さきのこつて さき イテ井ル
- のぎく のぎく ノハラニ
- 見 み
- 枯れて か
- ね ね ナカニアルトコロ
- 生きて い
- 土 つち
- 中 なか ○らい年 ねん
- はる はる サクコロ
- め め キノメ
- ふき出して ふき
- 今年 ことし ○お目 め コト
- お目 め コト
- 十、こくもつ じゅう

サプロウガオトウサンヤ、オカアサンヤ、ニヒサンヤ、ホエサン  
ニイロイロヒトノタベルコグモツトイフコトニツイテオソハルト  
コロガカイテアリマス。

- 三郎 さんらう
- 夕はん ゆふ ヲハン
- 今 いま
- 色色 いろいろ
- 母 はは
- 父 ちち
- お

正月 しやうがつ

○もち米 こめ ナマヘ

○米 こめ

○ごはん ゴセ

○おもち モチノコト、ハテイ子イニ

フトキニ

○もち米 こめ

○時 とき

○知 し

○うごん タベモノ

○さうめん タベモノ

○何で なん

○麥で むぎ

○同じ おな

○小麥 ムギノ

○大麥 ムギノ

○次郎 ジロウ

○又 また

○だんご タベモノ

○あん モチヤダンゴニ

○作る つく

○豆 まめ

○もの知り リコウ、モノゴトチ

○あ

づき コクモツ

○大豆 ダイズ

○大そう たい

○オホクシルコト

十一、ワラ

イネヤムギノミチトツタアトノカラチドウシテシ  
マウカトイフ、ソノツカヒミチガカイテアリマス。

○イネ カサノ

○ワラ イネノミチトツタシマ

○タワラ ワラデコシラエテコ

○コモ ワラデコシラエテ

○ムシロ ワラデコシラ

○ナハ ワラデナガクイト

○ワラヂ ワラデコシラ

○ミノ ワラデコシラハ、アメ

○作リマス コシラ

○又 また

○タタミ ノナマヘ

○トコ タタミノナカ

○皆サン みな

○知ツテ

○麥ワ

ラ ムギノミチトツタ

○赤 あか

○青 あお

○青色 いろ

○麥ワラザイク ムギワラテイ

○ロイロノカタ

チニシタ

○オモチヤ

○色色ナ いろいろ

○物 もの

○何デセウ なん

十二、サザエノジマン

サザエトイフカヒガホラチフイテ  
シマイニヒドイメニアツタハナシ。

○アル日 ヒ

○タヒ サカナノ

○ヒラメ サカナノ

○サバ サカナノ

○タコ サカナノ

○サザエ カヒノ

○岩 いは

○ボク ツブ

○大キナ

○フ

カ サカナノ

○來タ き

○時ニ とき

○君 きみ

○カタイヨロヒ

サザエノカタ

○時 とき

○中 なか

○内 うち

○ジマンバナシ ホラフキ

○海 うみ

○水 みづ

○大キナ おほ

○カラ サザエノ

○中 なか

○ヤラレタ クラレタ

○フタ カラ

ルヘニア  
 ○外  
 ○見ル  
 ○何ダ  
 ○サカナヤ  
 ○店  
 ○一セ  
 ン五リン

十三、のし

オイヲヒノトキニツケルノシトイフモノニツイテオチヨガ  
 オカアサンカラオハナシチキクコトガカイテアリマス。

○をばさん  
 ○おとしだま  
 ○人  
 ○物  
 ○母  
 ○見テ  
 ○おとしだま  
 ○人  
 ○物  
 ○おとしだま  
 ○人  
 ○物

○時  
 ○問ひました  
 ○昔  
 ○しきたり  
 ○のしあはび  
 ○紙  
 ○今

○あはび  
 ○肉  
 ○のして  
 スクスル  
 ○紙  
 ○今

○作つた  
 ○まん中  
 ○小さな  
 ○物  
 ○答へ  
 ○又  
 ○人  
 ○死

○時  
 ○おめでたくない  
 ○時  
 ○なまぐさのもの  
 サカナヤケモノ  
 ノニクノヤウナ

○品物  
 ○なまぐさ  
 ○魚  
 ○貝

鳥

十四、とけい

トキチシルニツガウノヨイトケイニツイテソノ  
 トキノシリカタチミナサンニオシヘテアリマス。

○皆さん  
 ○とけい  
 ○見方  
 ○知つて  
 ○字  
 ○長い

○早く  
 ○時  
 ○所  
 ○皆さん  
 ○一日  
 ○何じかん  
 ○あなたが

○何じかん  
 ○居

十五、とけいのうた

オモシロイトケイノウ  
 タガカイテアリマス。

○かつちん  
 ○ひびき  
 ○居れども  
 ○ちつとも  
 ○所

○ばん  
 ○かうして  
 ○ねごこ  
 ○やすんで

○居る ○休ます

十六、ナヅ ミナサンガイマママデナラツタウチデシツテ井ルモノチナヅニシテアルノデス、ヨクカンガヘテアテテゴランナサイ。

○木 ○ラ シツ ○人 ヒミ ○ヤイタリ ヒニアブ ○ニタリ ○見ル

○オメデタイ オイハヒ ○時 トキ ○オクリモノ オメデタイシル ○今 いま ○死 し

ンデ ○海 うみ ○中 なか ○長イ なが ○名 な ○何デセウ なん

十七、白ウサギ (一) ムカシシロウサギガワニザメチダマシテヒドイメニアツテナイテイルトコロチアルカミサマガダスケテクレタコトがカイテアルノデス。

○島 しま ウミノナカニ ○上 うへ ○居タ ゐ ○白ウサギ シロウイ ○大キナ おほ ○ヲカ

○行ツテ い ○見タイ み ○思ツテ おも ○海 うみ ○クフウ ハフ ○日 ひ

○ハマ ハ ○出テ で ○見ル み ○ワニザメ サカナノヒトツテ ○ナ

カマ ワニザメ ○オレ シロウサ ○多イ おほ ○見ヨウ み ○オモシロカラウ

イダシロ おほ ○答ヘテ こた ○大ゼイ おほ ○來マシタ き ○白ウサギ しろ ○見テ

○多イ おほ ○方ガ ほう ○少イ すくな ○知レナイ し ○上 うへ ○見ル み ○一ツ ひと

○二ツ ふた ○行キマシタ ゆ ○一足 ひとあし ○上ラウ あが ○所デ ところ ○來タカツタ

○大ソウ おほ ○一バン いちばん ○毛 け ○ムシリトツテ クナトツテ

十八、白ウサギ (二)

○タマリマセン コラヘ ○オトホリガカリ トホリカカルコト、オハテ ○オタ

ツネ タツネルコト、オハテイ ○申シ上ゲマス メウヘノエライヒトニ ○海 うみ ○水 みづ

○オヲシヘ オシヘル、オハテイネ ○オホクニヌシノミコト カミサ ○神サ かみ

ニンゲンヨリエライモノデ、  
マ ニンゲンチマモツテ非ルモノ  
○オ出デ ケルコト、オハテ  
○神サマガタ オホ

○弟ノ をこうじ  
○方 ほう  
○アニ神サマガタ オホセイノカミサマノ  
○イラ

ツシヤツタ 井タトイフコトチテ  
○オナリ ナルコトチテイ  
○目 め  
○又 また  
○行 い

ツテ 井ナイカハヤイケノミツナドチイフ  
○シホケノナイ水 ウミノミツノヤウニシホチフケンテ  
○ガマ クサノ

○ホ ガマノミノ  
○上 うへ  
○コロガレ 子コロ  
○所へ ところ  
○オカゲサマ

○兄サマ あに  
○オエラク エラクナルコトチテ  
○お方 かた  
○知 し

十九、雪のあさ ユキガフツタアサノキレイナ  
ヤウスガカイテアリマス。

○見ると み  
○雪 ゆき  
○まっ白です しろ  
○風 かぜ  
○少し すこ  
○知 し

○やぶ タケヤバラナドデヒト  
○竹 たけ  
○弓 ゆみ  
○中 なか  
○さき タケノ

○土 つち  
○松 まつ  
○見えます み  
○は キノ  
○木 き  
○はな キノ  
○犬 いぬ

○雪 ゆき  
○中 なか  
○人 ひと  
○あした タカイハノイ  
○は タカゲ  
○今日 けふ  
○早く はや

○學校 がっこう  
○行つて い  
○雪なび ユキチナゲアツ  
○今 いま  
○うめ キノ

二十、うぐひす ウメトウグヒスニツ  
イテノハナシデス。

○ほうほけきよ ウゲヒスノ  
○けきよ ウゲヒスノ  
○今 いま  
○うめ キノ

○木 き  
○枝 えだ  
○あんな アノヨ  
○小さな ちひ  
○大きな おほ

○出 で  
○羽 はね  
○色 いろ  
○うつくしく キレイ  
○花 はな  
○じぶん ロコ

○三郎 さぶらう  
○母 はは  
○四五日 しごにち  
○風 かぜ  
○來テ きた  
○苦シイ くる  
○今 いま

二十一、子ドモノ心 こころ  
イロホモシロイハナシチスルコトガカイテアリマス。

○外よそ ○所ところ ○オクスリビヤウキノト ○ニガウニガクテノ ○私わたくし ○上うへ  
 ゲマセウヤリマ ○何なんニモ ○少すくシ ○早はやク ○一いちドンニヘ ○オイシヤ  
 ナホスヒト ○オツシヤルユツタトイウコトチ テイ子イニイフコト

三十二、母の心ははこころ  
 オカアサンガフダンミナサンノシラナイウチニドシナニマナサ  
 ヲカアサンガフダンミナサンノシラナイウチニドシナニマナサ  
 ナンノコトノオセハチシンバイシテオイデナサレテ井ルカ、ソノ  
 ヤウスチシヤウカニシテカイテアルノデス。

○朝あさ ○早はやく ○あらひ物もの クモノ ○何なに ○太た郎らう  
 ○あざばた井下ノ ○母はは ○せい出だすイッシヤウケン  
 ○たらしミツチイレテアラ ○中なか ○あるはアルモ  
 ○こくらナマヘ ○はかまキモノノコシカラ ○夜よる  
 ○はりしキモノナドチコ ○上うへには ○お

ヒナチカザツテオイ  
 ハイチスルオマツリ

二十三、ヒナマツリオハナガオヒナサマチカザツテオイハ  
 ヒチスルヤウスガカイテアリマス。

○テツダツテテダス ○オヒナサマイルニンギヤウ ○一いちバン ○上うへ  
 ○ダイリサマオヒナサマ ○左ひだり ○右みぎ ○シヨクダイアカリチツ ○立た  
 テマシタ ○二にダン目め ○クワンヂヨゴテンニホウコ ○スエテオイ  
 ○三さんダン目め ○五人ごにんバヤシオヒナサマ ○又また ○四よダン目め ○小サナちひ  
 ダンスシナモノチイ ○ナガモチキモノチイレ ○ヒバチヒチイレテ ○又また  
 ○次つぎ ○ヒシモチモチノ ○オゼンタベモノチ ○ソナヘテオイ ○花はな

イケ ハナチサ スモノ ○花 はな ○ヒガンザクラ サクラノ ナマヘ ○母 はは ○所へ ところ ○行 い  
 ツテ ○ゴラン下サイ くだ ミテクダサイトイフコトヲ ○母 はは ○來テ き ○見テ み  
 ○マア カンシンスル トキニイフ ○ウツクシイイ キレ ○友ダチ とも ダチ オトモ

二十四、なすのよ一(一)

△カシヘイケトゲンシガヤシマトイフトコロダイクサ  
 ナシタトキ、ゲンシノホウノナスノヨイチトイフサム  
 ラヒガエライチガラチシタコトがカイテアリマス。

○やしま トコロノ ナマヘ ○たたかい イク サ イ ○をか リ チ ク ○海 うみ ○時 とき ○へ  
 いけ方 がた ノハウ ○一 ひとつ そろ ヒト ツ ○こぎ出して ○來ました ○見れば  
 ミル ○へ さ ぎ ぎ フネノサ ○長 なが い さ を タケ ナガイ ○立てて ○ひらいた ラ  
 ト イト ○へ さ ぎ ぎ キノハウ ○長 なが い さ を タケ ナガイ ○くわんぢよ ゴテンニホウコ  
 イテ ○赤 あか い ○扇 あうぎ が ザリモノ ○一人 ひとり ○のり のり 入 い ね ね ました ウスルオンナ

○下 した ○立つて ○さ さ しま ま ね ね いて オウギチウゴ カシテヨンテ ○な な み ○上 あ っ あ たり  
 ○平 ひら っ あ たり ○名 な 人 じん ナロト ○一 ひとつ 矢 や ノヤ ○い い お お ど ど す オトス ○大 たい  
 しやう サムラヒ ノカシラ ○よ よ し し つ つ ね ヒトノ ナマヘ ○ざ ざ ん ん ね ん シヤ ○上 じやう 手 て な イ イ  
 ○時 とき ○一 ひとつ 人 ひとり ○す す す す み み 出 で て ○な な す す の の よ よ 一 いち ノ の ナ ナ マ マ ヘ ○申 まう す フ  
 ○そ そ ら ンテ ○鳥 とり ○三 さん 羽 は ツ ツ ノ ノ コ コ ト ○二 に 羽 は ツ ツ ノ ノ フ フ マ ○よ よ 一 いち ナ ナ ス ス ノ ノ ヨ ヨ イ

二十五、なすのよ一(二)

○一 ひとつ ぎ ぎ ベ ベ ン ○じ じ たい テ ヨ ヨ ト ト ム ム ル ○よ よ 一 いち ナ ナ ス ス ノ ノ ヨ ヨ イ ○心 こころ ○い い そ そ こ  
 な な つ つ た た ら イ オ オ ト ト ス ス コ コ ト ト ガ ガ ナ ナ ○坐 い ぎ ぎ ぎ ぎ ○か か く く ぎ ぎ シ シ ン ン ○馬 うま ○ま ま た た が  
 つ つ て テ ノ ノ ツ ○海 うみ ○中 なか ○の の り り 入 い ね ね ました ウマニノツタマイ ○弓 ゆみ

- 見わたす ミマ ハス ○船 ふね
- しばらく キリ ヒトツ ○目 め ○つぶつて フサ ○神さま かみ ○いのつて タ
- 目 め ○ひらひて アケ ○見る み ○扇 あふぎ ○少しおちついて スゴ
- 矢 や ○つがへ ユミニヤ ○ねらひ メア ○引きしばつて チカラ
- ひようと ヤガト ユカト ○一矢 ヒトヤ イツホ ○いはなしました ヤチユ
- 赤い あか ○かなめ オウギ オホモト ○いざられて エミヤ デキリ ○まひ
- 上つて あか トンデア ○ひらひらと オウギ アヤウス ○二つ ふた ○三つ み ○波の上 なみ うへ
- 方 はう ○大しやう たい ノカシラ ○馬 うま ○くら ウマ ニノセ ○海の方 うみ ほう ノハウ
- ふなばた フネ ○一と いち シヨ ○どつと オホキ ナニ エチタ デア

尋常小學讀本卷四字引終



教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學讀本卷五

ぐら チドリウ タフコト ○あめのうずめのみこと カミサマ ノナマヘ ○女の神さま ○まひ  
 リ チドリ ○大ぜい ○手 ○お笑ひ ○少し ○あのなき スコシカホチダ シテミルコト  
 ○手力男のみこと カミサマ ノナマヘ ○力 ○お手 ○お出し ○申し上げ

第二、春が來た

○山 ○里 ムラナド ○のラノハ ○花 ○野 ○鳥 ○鳴く

第三、神武天皇

○日本 ○申シ上ゲ ○御セイバツ ウチタヒラ ○オトホリスチノミチ  
ゴセイバツニユク トチユウノミチ ○ケハシクテ アルクノニア プナイコト ○ヤタガラス ○鳥 ○出  
 テ來テ ○立ツ ○方へ ○御アンナイ チシヘテ、オ ツレマチス ○一羽 イツノフ

○金色ノトビリ ○オ弓 ○光 ○目 ○皆 ○行キ ○國ノ中ホ  
サユウ ○天皇ノオクラキ テンシサマ ノクラキ ○ソノ日 ○二月十一日 ○キゲ  
 ンセツ イハロヒ ○毎年 コトシモライネン モイツノトシニモ

第四、水のかび(一)

○私 ○雨 ○一しづく ヒトタ ラシ ○そら サ ン ○山 ○木のは ○上に  
 ○休んで ○風 ○土の上へ ○大ぜい ○一しよ ナカマニ ナリテ ○谷 タマ マヤ  
トヤマトノアヒダ ノロクキトコロ ○下り ○なかま ミツノコ トナイフ ○出合ふ ○少し來る ○高  
 ○出まし ○一思ひ オモヒ キツテ ○下りる ○何だか ○目が ○間  
 ○何も知らず ○見る ○人 ○二三人 ○立つて ○見ごと メリツ な

○たき ○ながめて タス ○来る ○野はら ○平て ○鳥 ○時  
 々 ○来て ○羽 ○ひたし シメス ○魚 ○日に ○夜は ○美  
 しい ○月 ○休なし ズニ ○通る ○美しい川

第五、水のたび(二)

○田 イホナウエルミ ○畠 ムギヤマメナツクル ○間を通つて ○来る ○右  
 ○左 ○いよく ダン ○ある時 ○上の方 ○さわがしい ヤカマ ○見  
 上げ ○馬 ○車 ○町の中 ○雨がは ○重い物 ○何か ○思  
 つたら ○船 ○そこ カハノ一バン ○軽い物 ○海

第六、ナラノ大ブツ

ナラトイラトコロニアアルニホソ  
ノオホキナホトケサマノドウゾウ。

○日本一 ○大キナ ○オ寺 ○大ブツ ○名高イ ヨクロトニシラ ○高  
 サ ○五丈三尺五寸 ○長サ ○耳 ○目 ○手ノヒラ テチヒラダグ  
シタルカタチ  
 ○中指 マシホソノユビ ○小サク ○見え

第七、コヒ

カハニスムサ  
カナノナマヘ。

○池ノ中 ○鯉 ○昔 ○川魚ノ長 カハノ入スムサ ○ウロコ サカナノカハ  
ノウヘニカサ  
 ナリアツテルチサイ、  
 マルイカタチノモノ ○フイタヤウ ナラベダ ○カサナリ合ツテ ○兩ワキ  
 ○一レツ ヒトス ○三十六枚 ○ソノ色 ○赤イ ○白イ ○皆 ○金  
 色 ○オビテ モツテ ○大キク ○口 ○右左 ○太イ ○辛セ  
 ホイ ○魚 ○蟲 ○水ノ上 ○ハネ上ツテ ○食ヒ ○時ニハ ニハ

高ク ○流 ○早イ ○川 ○タキ上リ ○男ノ子 ○五  
五月五日 月ノセツク ノイハヒ ○鯉ノフキナガシ ノチ、サホニツケテダタルコト ○立  
 テ ○ゲンキ ナルコト ○シユツセ トナルコト ○心テ アケ ○祝フ

第八、母の手つだひ ハハノシゴトニテ

用が ○お出て ○行つて ○流しもと コロ ○魚 ○さしみカサ  
ナノナマニクチホソクキリテ ○戸だな トノアルタナニテサラ ○方 ○取つて  
シヤウユチツケテダベルモノ ○持つて來ました ○切つて ○何の御用 ○お待ち ○手 ○なま  
ナマザカナノ ぐさい ニホヒカスル ○ひしやく ミツチクミ ○水がめ ミツチナイレル

第九、かまぬすびと

ぬす人 ビトドロ ○住んで スマロ ○ゐざり アシタタ ○うはさ ロヤサ ○行  
 つて見る ○なるほど ウハサノトホ ○大そう ○取りかへさう ○釜  
 ○昔 ○私の ○よその物 ヒトノモツ ○うつたへて オカミヘ ○出まし  
 た ○やく人 ○二人 ○出して ○前に ○毎日 ○使つて ○る  
キナイ ○申し ○又 ○お役人 ○ごらんの通り ○足の立たな  
トキ ○両手 ○重い物 ○持つて行かれませう モツテユケマセウ ○考へ  
ハヤ ○さつそく タイヘ ○大そう ニ ○後から ○こら待て ○その方  
キサ ○下役 ノモノ ○言ひつけて

第十、うめぼし

○二月・三月 ○花ざかり 一パイニサクコロ ○うぐひす トリノナ ○鳴い  
 た ○春の日 ○たのしい時 イトキ ○ゆめのうち クハルモスギサル ○五  
 月・六月 ○實ミ ○枝 ○町 ○持出され ○何升何合 ○はか  
 り賣 ハカリニカケ ○しそ ノナ ○赤く ○七月・八月 ○三日三ばん  
 ○土用ぼし ノトキニアカクソマツタワメチホス ○思へば テミルト ○それもラッ  
 トモ ○よのため ヒトノタメ ○しわはよつても シヨリトナツテモ ○わか  
 氣で ノノキモチテ ○小さい君ら ○なかま入 ハイリテ ○うんどう會  
 フウクワイノト ○ついで行く ハイツテユク ○まして サラ

第十一、茶キノ

○茶ノ木 ○シゲツテ ヘテルコト ○下ノ方 ○枝 アカレテエルモノ ○ニ  
 ハ木 テチクキ ○高サ ○大テイ ○三四尺 三尺カ四尺 ○茶ノ葉 ○長  
 サ ○二寸 ○色 ○コイミドリ色 シタルイロ ○十一月 ○白イ色  
 ○花 ○ベン ビラ ○實 チニテキルモノ ○ツバキ ナキノ ○中ニ ○種  
 クサヤキト ○茶島 テアルサメン ○大ゼイ ○女 ○ツンデルコト ○シ  
 ンメ クアルハシ ○出ル ○一番茶 ○二番茶

第十二、蝶

○サクラ ハルキレイイナハナ ○下ニ ○白イ蝶 ○思ヒ ○ナ トノダベモノ  
 ○島 ○ナノ花 イハナ ○トビ立ツ ○思ヒ ○羽 ○木ノ葉 ○ネ

ムツタヤウ ネムツタヤウニシツカ      ○大キナ      ○小サナ      ○白イ      ○黒イ  
 ○マダラ シロ、キイロ、クロナ      ○チマ〜イロ      ○美シウイ ウツク      ○花ゾノナ ハナ  
ノサイテ      ○野原 の ヘテ ル ヒ ロ バ      ○一ツウ      ○引立チ      ○モヤウ キモノニツ  
イルニハ      ○カンザシ チンナノアマニ      ○蝶ノ形 てよ かたち      ○ドウイフ心 こころ デ セ ウ カンガヘ  
ダ      サスカザリモノ      ○トデア リ マス

第十三、小子部のすがる

○昔 むかし      ○雄略天皇 ゆりやくてんわう      ○すがる      ○おめし ヨビヨ      ○こ カロコ、  
オシ      オンナマヘ      ○かひこ ムツノナ、ロトガイヘニカヒ      ○皇后 くわうごう      ○心づか こころ  
○集め あつ      ○来い こ      ○たづね サガス      ○天子様 てんしやま      ○おほせ オメイ      ○子 こ      ○出す た  
ズ メシラ      コト      コト

○来ました      ○大そう      ○お笑ひ      ○皆      ○お前 まへ      ○やしなつて ソダ  
○小子部 ちひよこべ      ○姓 せい メウ      ○たまはり アタ      ○大ぜい      ○おみや カミサマチ  
マツレルト      ○居つた      ○申し まを

第十四、ていしやば

○汽車 きしや ヒトチノセヲ、ハコブアルマ      ○今 いま      ○下り      ○のりこまう キシヤ      ○見 み  
シヤウキノチカラテウゴク      ○こみ合つて オホゼイノヒ      ○下りる      ○買 か  
キシヤニノツテユクモノニ、テイシ      ○かばん モル      ○持つて      ○走つて行く カケダ      ○さつぷ キシヤニ  
ヤバマテイツシヨニツイテユクコト      ○かいさつ口 ぐち キシヤニノルトキニキツプチミセルト      ○切符 きつぷ      ○しらべて  
ヨイカ、ソル      ○切つて      ○うけ取つて      ○えさふ テイシヤバニキテ      ○小 ちひよ  
イカチミル      ○うけ取つて      ○えさふ テイシヤバニキテ      ○小 ちひよ

な車くるま ○上うへへ ○山のやう ○荷物にせもの ○手荷物てにせもの ○出でます  
 ○走はしつて ○間に合あはない ○待ちませまちせん ○時間じかん

第十五

○汽車きしゃノタビ ○外そと ○山やま ○川かは ○野原のほら ○林はやし ○後うしろ  
 ○文太郎ぶんたろうコノナ ○父ちち ○山やま ○野原のほら ○林はやし ○後うしろ

ノ方はら ○田た ○道みち ○通とほつて ○馬うま ○車くるま ○今いま ○見みエタ ○思おも

フ ○後うしろ ○走はしつて ○汽車きしゃ ○スレチガフ ○カミナリ ○トンネル ○左ひだり ○右みぎ

○時とき ○向むかフ ○同おなジコト ○下したノ方はら ○カミナリ ○トンネル ○左ひだり ○右みぎ

○音おと ○フシギヘンニ ○急いそニフィ ○マツクラナ所ところ ○トンネル ○左ひだり ○右みぎ

○ケシキノアリサマ ○行いク ○町まち ○音次郎おとじろうコノナ ○二人ふたり ○來くる道みち ○に

第十六

○ある日ひ ○友吉ともきちコノナ ○音次郎おとじろうコノナ ○二人ふたり ○來くる道みち ○に

はかにフイニ ○雲くもがでて ○鳴なり出でし ○遠とほくの方はら ○近ちかく ○雨あめ

○道みちばた ○高たかい木き ○下したへ ○早はやく ○來きたまへ ○鳴なる時とき

○そんな所ところ ○のかせよう ○高たかい ○この間あひだ ○先生せんせい

○手をひつばつて ○木きの下した ○間まもなく ○耳みみ ○思おもはず ○顔かほ

○上げ ○ままつ二ふたつ ○君きみ ○僕ぼくは ○死しんで

第十七、瓜

- キ瓜ウリ ○マクハ瓜ウリ ○白瓜しろウリ ○夕顔ゆがは ○西瓜すいくわ ○トウ瓜かん ○形かたち ○細ほそ
- 長ながク ○太とク ○平ひらタイ ○長ながイ形かたち ○小ちひサイ ○他たノ ○大たいテイ
- ナメラカツルツルシテ、 ○中なか ○黄き色いろ ○赤あかイ ○種たね ○黒くろイ ○多おほ
- イ ○外そと ○生なまデ ○瓜ウリモミ ○カリチ、コマカクキリヨク ○ツケ物もの ○又また
- 實みガイルミガスツカリテ ○瓜ウリノ葉は ○廣ひろク ○白しろク ○ソノ他ほか
- 皆みな ○黄き色いろ ○瓜ウリノツルイトノヤウニホソナガ ○瓜ウリノツルクハヒテノビルモノ ○瓜ウリノツルニハナスビ
- ハナラヌヨイコスルモノニハ、フクガグドモ、 ルイコトチスイスルモノニハフクハコナイ

第十八、コウモリ

カウモリガイツバウヘミカダスルト、マダツアンノツガフデ、  
ベツノハフヘミカダシテ、アマリ、ワガマナシダカラ、ミン  
ナニキラハレテ、ノケモノニサレマシタ。

- 昔むかし ○鳥トリノ仲間なかま ○私わたし ○勝かちチ ○負まけケサウ ○羽はね ○勝かち負まけ
- 兩りやう方ほう ○仲なかナホリ ○オ前まへ ○入いレ ○ヒルノ間あひだ ○木きノウロキノ
- ニテキテイルアナ ○穴あなノ中なか ○夜よる ○出でテ ○空そら

第十九、炭ト油

スミトアアラハ人々ニマイニチナクテナラナイモノデス、フダツ  
トモツチノナカカラデルモノデ、コレサトリダスニハ人がダイヘ  
ホネチナルモノデスカラ、ムダニスルコトハテキマセン。

- 人ひと ○火ひ ○物もの ○又また ○夜よるニ ○火ひヲトボシヒチツケ ○使つかフ
- 出で來きル ○知しリマセン ○大おほ昔むかし ○木き ○火ひヲ出だシ ○後のち ○石いし
- 金かね ○ウチ合あセテ ○近ちかゴロ ○出で來きテ ○火ひ打うち石いしカネニスリアハセ ○火ひ
- 打うち金かねヒウチイシチ ○炭すす ○木き炭たんキチイテコ ○石いし炭たん ○土つちノ中なか ○火ひノ力ちから



○汽船

○汽車

○汽船

○ソノ他

○皆

○油

○色々

○魚

○シヨクブツ

○クサヤ、キナイフ

○アンドン

○ムカシツカ

○ツタアカリ

○ナタネ

○種油

○ネ

○カヲトツ

○石油

○地ノ中

○シゼント

○ヒトリ

○シアゲル

○スルト

○キレイニ

○油

○スタレテ

○ナクナ

○モエル土

○モエル水

第二十、蟲のこゑ

○松蟲

○鳴いて

○鈴蟲

○鳴き出し

○あまの夜長

トヨルノアヒダガ

○秋の夜長

トヨルノアヒダガ

○チガク

○鳴き通す

○くつわ蟲

○馬おひ

○ムシノナ

○秋の夜長

トヨルノアヒダガ

トヨルノアヒダガ

第二十一、はがき

ハガキハペンリナモノデス、コレニツブンのチモフコトチカ  
イテダセバ、チヤントトドキマス、ソノカハリキレイニワカ  
ルヤウニカカネバナリマセンカラヨクカキカタチチナライナ  
サイ。

○所から

○御手紙

○来て

○読んで

○母

○取上げ

○八ま

○んさま

○朝早く

○一しよ

○お出て

○二人

○行つて

○お出て

○今

○書いて

○學校

○お休

○二人

○行つて

○お出て

○今

○葉書

○お出し

○私

○書き方

○習ひません

○お話し

○通り

○通

○葉書

○考へ

○裏へ

○次のやう

○アトニアル

○よく出来ました

○よく出来ました

○よく出来ました

○よく出来ました

○たし

○下さい

○表の方

○あて名

○テガミノユクト

○よく出来ました

○よく出来ました

○よく出来ました

第二十二、マツリ

マツリハニギヤカナモノデ、ダシガタタリ、ミコシチカツイ  
タリシテ、イヘイヘノ、ノキニハチヤウチンチツルシテ、ヒル  
マモバンモニギヤカデス。

○大キナ

○字

○書イタ

○ノボリ

○ウナモノ

○立テ

○音

○森

- ノ中 ○道ノ兩ガハ ○店 ○子ドモ ○美シイ ○着物 ○着テ
- オ宮 ○鳥居 ○下 ○通ツテ ○石ダン ○道 ○上ツテ ○小
- サナ ○正面 ○鈴 ○下ツテ ○皆 ○鳴ラシ ○エマ
- 古イ ○新シイ ○ヨシツネ イヒトノナ ○ペンケイ
- ニタンノ四郎 ライノナマヘ ○又 ○日本ヘイ ○裏 ○今 ○勝負
- マケ ○一番 ○見セ物 ○客 ○音 ○晩ニ ○花火 ○上ル
- 話デ

第二十三、鹿ノ水カシミ

- 鹿 ○思ツテ ○谷川 ○見テ ○足 ○ツク ○角 ○物
- 牛 ○枝 ○毎年 ○春 ○又 ○新シイ ○知ツテ ○細
- ク ○弱サウ ○出來ルコトナラ ○太ク ○強イ ○後ノ方 ○カ
- リウドノコト ○來ル音 ○タクマシイサナ ○カリ犬 ○四五匹
- 輕イ足 ○林 ○美シイ ○木ノ枝 ○追ヒツメラレ

第二十四、ひよどりごえのさかあとし(一)

- へいけ 平家ト ○ぐんぜい タイ ○ふくはらのしろイノナルトコロ ○守
- つて ○東 ○生田の門ノナ ○西 ○一の谷の門ノナ ○間 ○北
- 山のふもと シタノトコロ ○南 ○海の波打ぎは サミギシノナミガ ○人
- 馬 ○一面バイツ ○しくさ船 ○あし立て ○何千本 ○赤はたいへ

ケノハタ、ア  
カイロナリ  
○火 ○げんじ源氏ト ○二手 ○分れ ○のりよりト  
ナノ ○向ひ ○よしつねヒト ○表から ○攻めおとすセメ ○何て  
も ○裏から ○ふいユダシシテ ○考へ ○強いもの ○三千人 ○す  
ぐつてヨリダ ○裏道 ○べんけいヨシツホ ○居つた ○けはしい  
所ミチノアブ ナイトヨ日 ○分らない ○日が暮れ ○まつ暗 ○火の明り ○丈  
のタカイ 高い タカイ ○たくましい男オトコ ナトコ ○使ふ ○弓矢 ○持つて  
○年 ○答へ ○刀

第二十五、ひよどりごえのさかちとし(二)

○下りる ○後はけはしい阪で ○馬の通れる所 ○鹿 ○をりく  
トキキ ○聞く ○四つ足アシノ 四ホ ○言ひつけて ○夜 ○がけの上  
○夜が明け ○見下せば ○何十丈 ○東西ニシノ ○二門 ○まつ  
さい中 ○へいけ方 ○軍ぜい ○攻め ○ゆめにも思はないスコシモ  
イナ ○進めく ○顔を見合せ ○進まう ○手本 ○一むちウチ  
一ツアテ ○一時に ○城の中へ ○ふいを打たれキノツカナイト  
方 ○攻立て ○さんくメチヤメ に

尋常小學讀本卷五字引終

教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學讀本卷六

尋常小學讀本卷六字引

第一、日本

- 島國しまぐに
- 四方しほうリり
- 海うみ
- 海岸かいがんギギシシ
- 切立きりたてたたキキツツタタ
- 岩山いわやま
- 平ひらたいたいララタイタイ
- 砂原すなはらハラハラ
- 所ところ
- 多おほいい
- 一面いちめんにに
- 小松こまつ
- 小松原こまつはらママツツババララ
- 又大またおほきなきな
- 長ながいい
- 松まつ
- 原はら
- 海うみベベイイトトココロロ
- ふたふたんんウウシシツツ
- 強つよいい
- 風かぜ
- 高たかいい
- ししせせんんににダダンン
- 枝えだぶりぶりヨヨウウスス
- 白しろいい砂すなにに
- 青あおいい松まつ
- ははまま
- 見みてもも
- 美うつくしいしい景けい色しきナナガガメメ
- 山やま
- 多おほいい
- 山やま
- 多おほいい

木が ○杉 ○ひのき ナ ○目が ○心持チ ○春は ○

花 ○秋は ○山のながめ ケシキ ○時々 ○所々 コチラ ○白い

ぬのをさらしたやうな ヒロゲテホシタヤウナ ○谷川 ナガレルカハ ○ひき

立てる ニスル ○川 ○早い流を ○いかだ タケヤキチケンデハコブ ○

下つて ○行く ○ほかけ船 ホチカケテ ○上つて ○まるで チヤ

○橋 ○下に ○立つて ○つりする人 ルヒト ○そへてゐる

ツケクハ ○國 ○春夏秋冬 アキフユ ○色々々 マナ ○鳥 ○鳴

く ○一年中に ○からり ヨク ○日 ○多い ○月夜の キ

ノデタ ○美しい ○見上げる ミアゲル ○峰 ヤマノトガツ ○一つ松

ノマツ ○わけて ケテ ○名におふ イナ ○松島 ノナマヘ ○大

島 ナマヘ ○小島 ナマヘ ○通ふ イツタリキ ○白ほ ノフチ ○白つ

ゆむすぶ サマルクタマル ○秋の野 ノハラ ○ちぐさの花 クサノハナ ○

吉野山 ノナマヘ ○一目千本咲きみちて ヒトメニセンホシホドミヘルヤウチ ○

第二、四季

イチ子シノウチノハルナツア キフユトイフヨツツノキセツ。

○日カサナリテ月トナル イチニチノトヒガ三十カサ ○年 ○一年 ○

十二ヶ月 ツキノカツガ十 ○春夏秋冬 アキフユ ○四季 キセツ ○分ツ

○三月 ツキノ ○初 ○五月 ツキノ ○終イ ○春 ナマヘ

○六月 ムキ ナマヘ  
 ○八月 ハチ ナマヘ  
 ○夏 ナツ ナマヘ  
 ○九月 ク ナマヘ  
 ○十一月 ジュウイチ ナマヘ  
 ○秋 アキ ナマヘ  
 ○十二月 ジュウニ ナマヘ  
 ○アクル年 アクルネン ツギノトシ  
 ○二月 ニ ナマヘ  
 ○冬 フユ  
 ○寒シ サムシ

第三、遠足 エンソク トホイトコロヘアソビニエケコト。

○日本 ニッポン ばれ カモノカゲハスヨシモナクニツボ  
 ○日本 ニッポン ばれ ンシウハレテ井ルヤウナテニキ  
 ○天気 テンキ ソラノヤウス  
 ○私 ワタクシ  
 ○朝 アサ  
 ○七時 シチジ  
 ○橋 ハシ のたもと ハシノカカツテ  
 ○出 デ かけ ノイヘ  
 ○家 イヘ ノイヘ  
 ○川 カハ  
 ○四 シ 五 ゴ 町 チウ  
 ○行 ユク く  
 ○町 チウ  
 ○たんば タンバ アルトコロ  
 ○いね イネ ルクサト  
 ○風 カゼ  
 ○黄色 キイロ イロノ  
 ○波 ナミ  
 ○立 タ つて  
 ○こ

○赤 アカ イロノ  
 ○鳥居 トリイ オミヤノハイリ  
 ○見 ミ え  
 ○御社 ミヤ  
 ○後 ウシロ  
 ○松山 マツヤマ テイルヤマ  
 ○あせ道 アセミチ ノホソイミチ  
 ○七八町 シチハチチウ  
 ○通 トホ つて  
 ○小 コ  
 ○川 カハ イカハ  
 ○渡 ワタ る  
 ○前 マヘ へ  
 ○さんけい サンケイ イリ  
 ○休 ユス み  
 ○道 ミチ が  
 ○細 ホソ く  
 ○けはしい ケハシイ アナイ  
 ○草花 クサハナ ハナ  
 ○足 アシ も  
 ○だ ダイ ぶく  
 ○たび タビ れて オヒク ツカレテ  
 ○す ス きました オナカノヘルコト ヒモツタナルコト  
 ○上 ウヘ に  
 ○時 トキ  
 ○大 オホ そ ダイ う オホ へ ヘン  
 ○同 ドウ じ  
 ○別 ベツ の ホ カ  
 ○下 ゲ り  
 ○三 サン 時 ジ 間 カン  
 ○二 ニ 時 ジ 間 カン  
 ○又 マタ  
 ○方 ハウ 々 ハウ で アチヲ コナラ  
 ○夕 ユウ 方 カタ レ ヒノク ガタ  
 ○晚 バン に ル ヨ  
 ○一 ヒト 眠 ネ に ツカレテ ムルヤウス

第四、ガン トリノ ナマヘ。

○ツバメ ナマヘ ○暖ニ ○來テ ○涼シク ○行ク ○秋ニ

○列ヲ ナガクナラ ○時ニハ ○一羽 カズ ○少シ ○

先ノ ○方ニ ○道アンナイ ルベシ ○行ク ○又 ○ガア

○鳴合フ ハス ○アヒツ セシラ ○加ル ○聞ク

○空ガ ○晴レテ ○月ノ ○明ルイ ○晚 ○多イ ○曇

○夜 ○大タイ ガイ ○月夜ニ ヨル ○チユウイ ケル

第五、取入れ

○田 イ子チツク ○見テ ○稻 ルクサト ○じゆくし テキ ○重さ

○今日 ○天氣 ヤウモ ○人が ○大

○出テ ○かつた稻 カマデカリ ○雨 ○米 ○間

○時 ○大へん ソウ ○夜も ○十分 マン ○眠れ ○刈つた

○木に ○地面 ラナトコロ ○日 ○稻こき

○又 ○すりうす ツアスモノ ○

○儂 クモツナイレルモノ ○筆ね ○田うる

○草取り サチトルコト ○苦しき イコト ○全く

第六、物サシトマストハカリ

○長サ ○物サシ ハガルキガイ ○尺 ナマヘ ○十倍 ○丈 ナマヘ

○十分ノ一 タヒトツ ○寸 ナガサノ ○分 ナガサノ ○厘 ナマヘ ○



カネ尺 ヒヤクナガサチハカル ○クヂラ尺 ヒヤクナガサチハカル ○少シ オウシ ○一尺 イツシヤク  
 八寸 ハツスン ○カサ カサ ○柵 マサ モノノカサチ ○升 シヨウ ナマヘ ○斗 ト カサノ  
 石 イシ カサノ ○合 ガウ ナマヘ ○勺 シヨウ ナマヘ ○重サ オモサ ○ハカリ オモサチハ  
 ○色々 いろいろ ザマ ○貫 クワン ナマヘ ○千分 センブツ 一 タヒトツ ○匆 オム ナマヘ

第七、かしこい子ども

一

○昔 ムカシ ○國 クニ ○大きな オホキナ ○象 ゾウ ナマヘ ○目方 メカタ オモ ○分り ワカ  
 時 トキ ○居た イダ ○一人 ヒトリ ○子ども コ ○私 ワタクシ ○見ませう ミませう ○船 フネ  
 ○重み オモ ○水に ミヅニ ○つかつた ツカフタ ○所に ココロ ○附け ツケ ○代り カヘ

○石を ○前に ○なんごにも イクダ ○はかり オモサチハ ○知り

二

○家 イヘ ○大きな オホキナ ○水がめ ミヅガメ ヨツチイ ○雨水 アメノタマ ○一ぱい イツパイ  
 ○一人 ヒトリ ○子ども コ ○上つて アガ ○遊んで アソ ○ふみはづして フミはずして アシチハ  
 ○中へ ナカヘ ○死んで シ ○居合せた イッヂ ニ 井 タ ○皆 みな ○うろたへ ウロタヘ アハ  
 その時 そのとき ○大きな オホキナ ○石 いし ○持つて も ○来て キ ○力まかせ チカラカセ ツバイ  
 ○投げ な ○大きな オホキナ ○穴が あな ○水が みづ ○流れ なが ○出ました ○

第八、ヤクワントテツピン

○晩ばん ○金物かねものヤ ○店みせ ○カネデコシラヘメ  
○ヤクワンユチワカ ○テツピン

○メイツアナンシ ○シマンバナシホラフキ ○金かね ○一いち

○人ひとノ役やくタメホトノ ○立たツ ○私わたくしドモシタチ ○仲間なかま ○銅どう

○金きんナマヘカ子ノ ○ギンナマヘ ○美うつくシイキレ ○指ゆびワユビニハメル ○トケ

○他ほか ○カザリ物もの ○ネダンアタイ ○高たかウ ○銅どう

○銀ぎんナマヘカ子ノ ○ゼニシ ○出で来き ○針はり金かね ○高たかウ ○金かねダ

○見みレバ ○役やく ○立たツナル ○鐵てつデカネノ

○メシヲタクゴハン ○釜かまラヘルドウダ ○物ものヲニル ○釘くぎ ○針はり ○小ちひサ

○五ごトクテツビマチノ ○其そのノ他ほか ○釘くぎ ○針はり ○小ちひサ

○キクワン車クルマ ○今いまデハ ○上うへ ○聞きイテ ○赤あかク ○使つかフ

○皆みな ○今いまデハ ○錢ぜにシオア ○上うへ ○聞きイテ ○赤あかク ○使つかフ

○ハナイ ○セイ出だシテケレメイテ ○光ひかツテ ○時とき時とき ○青あをイ物もの

○大たいソウ

第九、よいでつち

○直ただ吉きち ○長ちやう松まつ ○向むかヒ店みせ ○でつち

○主人しゆじん ○朝あさ ○用もちたしヨウチ ○出でた ○二ふた人たり

○一ひと人り ○男をとこの子こ ○買かひに ○來きた ○一いつ本ぽん ○三さんせん

○買かつて ○十じゅうせん ○銀ぎん貨わ ○一いつ本ぽん ○出だし ○何なん

の氣なし カンガ ○一せん いっせん ○銅貨 ドウカ ドウデコシチ ○三枚 さんまい ○渡した わたした

○後で あち ○氣が附いて オモイ ツイテ ○大へん たいへん ○今の いま ○お客に きやく モノ

チカツテケレ ○一錢 いっせん ○上げ あ ○追っかけ お ○行つて い ○残り のこ

メヒト 来る ○笑つて わら ○先で まき ○知らない し ○事 こと ○出来る でき ○金は かね

○一厘 いちりん ○取つて と ○だんな だんな アルツン ○居ない ゐ ○誰に だれ ○おる おる

メウヘノヒトガル す メウヘノヒトガル ○なばさら ○聞いて き ○正直 しやうじき ウソチナイワナイコト、

○ひまをやつた ツカメナ イコト ○聞いて き ○正直 しやうじき ルイコトチシナイコト

第十、織物

○キヌ織物 をりのもの キヌチ ○モメン織物 をりのもの モメンノ ○アサ織物 をりのもの アサノチ ○毛 け

織物 をりのもの ノチリモノ ○絹糸 きぬいと イト ○織り オリ ○絹織物 きぬをりのもの ○着物 きもの ルモノ

○羽織 はをり キモノウヘ ○ハカマ キモノチキテコシヨ ○オビ キモノノヌゲナイヤ

○高キ たか ○大タイ たい ○木綿糸 もめんいと モメン ○木綿織物 もめんをりのもの チリモノ ○多ク おほく

○麻 あさ クサノ ○又 また ○カラムシ カサノ ○麻織物 あさをりのもの ○麻糸 あさいいと アサ

カチフセゲタメニヨル カヤ ソノナカデネルモノ ○カタビラ チリモノ ノナマヘ ○フランネル チリモノ ノナマヘ

○ラシヤ チリモノ ノナマヘ ○メリンス チリモノ ノナマヘ ○毛 け ○ツムギ ケレイ ニスル

○十一、太郎の日記 たろう にっき

○十二月十日 じゅうにがつにじゅうにち ○日曜 にちやう ○晴 はれ テンキノ ○今日 けふ ○天氣 てんき ソラノ

暖い あたたか ○うち ウチ ノウチ ○すゝはき キタナイコト ドチトルコト ○僕 ぼく ノコト ○手ぬ てぬ

ぐひ テチフイダ ○手つだひ スケ ○ゆか下 シタ ○去年 ○こま

オモチヤ ノナマヘ ○出て ○見ちがへる ガウ ○ごはん シメ ○十一日 ○

月曜 ○雨 アメノフツ ○道 ○學校 ○徳川光圀 ナマヘ ○話

○聞いて ○紙 ○そまつ ダム ○思つた ○十二日 ○火曜

○朝 ○見ると ○池 ○氷 ○北風 フクカセ ○一日 ○ふ

き通して デフク ○寒かつた ○十三日 ○水曜 ○曇 テ井ルコト

○所へ ○使ひに ヒニ ○行つた ○鹽せんべい シホデコシラ ○十

四日 ○木曜 ○雪 テ井ルコト ○五六寸 ○雪投 テアソブコト

午前六時 ノロクシ ○汽車 ルモノ ○京都 ナマヘ ○お立ち ヒトガド

コカヘユ ○水せんの花 ナマヘ ○見て ○十六日 ○土曜 ○十

七日 ○日曜 ○午後 スギ ○手紙 ○着いた コト

第十二、京都からの手紙

○昨日 ○六時 ○汽車 ルモノ ○間に合つて ○晩の ルヨ ○

九時二十分 ○着いた ○今日 ○朝 ○見物 ○第一番

○御所 マガイタトコロ ○東山 ノナマヘ ○方へ ○行つた ○清水

寺 ナマヘ ○お寺 マツルトコロ ○お宮 ツツタトコロ ○さんけい イリ

○三十三間堂 ナマヘ ○ぼとけ ミサマ ○多い ○明日 ○銀

閣寺 オテラノ

○見て

○北山 きたやま

メイシヨ

○金閣寺 きんかくじ

オテラ、

○北野 きたの

トコロノ

○天神様 てんじんさま

マツツタオミヤ

○明後日 あさつて

○立つ

○道で みち

○

用を

○次の つぎ

○水曜日 すいようび

○おみやげ話 はなし

○様々 いろいろ

○待つて

○十二月十六日 じふにがつじゅうろくにち

○父 ちち オトウサ

○太郎 たろう ビトノ

○お花 はな ヒトノ

第十三、コトワザ

ヒトノタメニナルムカシカラノイヒツタヘ。

○ユダン大敵 たいてき

ユダンチスルコトハヒヤクマンモアル、テキノゲンタイホドオソロシタモノデアル

○人ノフリ見テワガフリ ひと

直セ

ヒトノヨースノワルイトコロバカリハミエテ、シブアンノワルイトコロハミエナイ、ダカラヒトノヨースチミテイツシヨニシブアンノヨースニキチツケナケレバナラナイ

○サルモ木カラオチル き

シツウキノウヘニヌンデ井ルサルデサヘモ、トキトスルトキカラオチルコトガアル、ヒトモカウイフアヤマチチスルコトガアル

トオナツコトデヒトチアツタリツネツタリスレバヒトモイタイ、ダカラヒトチタタイタリナドシテハナリマセン

○イソガバマハレ サキバカリイソイデム

リバカリシテモダメデス、チヤントソノミチスデチタテススマナケレバダメデス

○樂ハ苦ノ種苦ハ樂ノ種 らく たね

ラクバカリシテ井ルトヤガテクルシ

イコトガクル、マダハシメハクルシイオモイナシテ井テモヤガテラクナトキガクル

○コロバ又先ノ杖 つえ

コロンデカラアトデツエチモツテモナンニモヤクニク

チマセン、ソレトオナツテワタケシドモハラクダイシテカラベンキヤウシテモダメデス

○チリモツモレバ山トナル やま

フツサンノヤウナタカ

イヤマデモトハメニミエナイホドノホコリカラデキタモノデス、デスカラワタケシドモマイニチマイニチベンキヨーシテユケバシマイニハエライヒトニナレマス

○病ハ口 やまひ くち

ヨリ入ル い ビヨーキトイフモノハミンナクチカライロイロノタベモノニマツツテカラダノチカニハイツテユクモノデス、ソレトオナツテクチノキキヨーガワルイト、ヒトニナンギ

チカケタリ、ヒトニオコラレタリシマス、キチツケナケレバナリマセン

○鳥ナキ里ノカウモリ どり さと

カフモリハヨハイケモノデトリノ井ルトコロヘユクトチロ

サクナツテ井テ、トリノ井ナイトコロヘユクト井バリマス、ワタケシドモハカウモリノヤウデナクヨハイモノノナカヘイツテモイバサズ、ツヨイモノノトコロヘイツテモオソレナイヨウデナケレ

マナリ ○井ノ中ノカハツ大海ヲ知ラズ せまい井ドノナカニスンデ井ルカハツハオホキイナウミチシラナイデセカイシウデコノ井

ドガイチパンオホキイトオモツテ井ル、ワタケシ  
ドモハソウイフセマイリヨウケンテハナリマセン

第十四、豊臣秀吉

- 日本中 にっぽんぢゆう ○平げて たいら メルコト ウチシツ ○後には のち ○朝鮮 てうせん ナマヘ クニノ ○攻め せ
- 行つた い ○人 ひと ○身分 みぶん ガラ イヘ ○小さい ちい ○時 とき ○名 な ○日 ひ
- 吉丸 よしまる ナマヘ ヒトノ ○まづしかつた バウ ○八つ やっ ○お寺 てら ホトケチマ ツツタイヘ ○小 こ
- ぞう テツ ○おきやう ホトケノオシヘガ ○何べん なん ドナン ナン ○耳 みみ ○聞 き
- いて こころ ○心 こころ ○武士 ぶし ライ サム ○思つて おも ○者 もの ○父 ちち ○又 また
- 出し だ ○ほうこう ツト ○方 ほう ○身が入りません キニナレナイ ○初 はじめ ○役 やく
- 行つて い ○居つき ツツトシ ○年 とし ○十八 じゅうはち ○木下藤吉郎秀吉 キニナレナイ ナマヘ ヒトノ

- 名のつて な ケテ ナチツ ○熾田信長 おだのぶなが ナマヘ ヒトノ ○つかへ ホウ ○初 はじめ ○役 やく
- 目 め ミア オメニカ ○目通り めさほ カルコト オメニカ ○出来 でき ○日 ひ ○夜明け よあけ ルコト ヨガアケ
- 前に まえ ○馬に乗り うま ○者が もの 誰か たれ ○答へ こた ○又 また ○朝 あさ
- 早く はや ○かり ケモノチ ○居らぬ を ○ひかへて マチカマ ○少 すこ
- 主人 しゆじん ○仕へ つか ウスル ホウコ ○目をかけて め シテ ロイキ ○使ひ つか ○年 とし
- 城 しろ イクサチスルトキ、  
ダイメウノスムイヘ ひやくけん ○百間 ひやくけん ○事 こと ○大せい おほ ノヒト タクサン ○直し ただ
- 中々 なか ○十組 とくみ クミ トウノ ○分け わ ○十間 じゅうけん ○仕事 しごと ○出来上り できあがり
- 見て み ○重く取立てて おも トリモツテ テイネイニ ○一方 いっほう ハサ カタ ○大將 たいしやう ノカシラ

第十五 豊臣秀吉

○上手 ヒトウデ コト ○一べん ○後に ○馬じるし ウマ イクサノトキタイシヤウノウ  
 ○見る ○敵は テキ ○戦はない タカヒ シナイ ○行く イク ○信長 のぶなが ナマヘ  
 言ひ ○攻め セ ○行つて ○間 あひだ ○事 こと で ○京都 きやうと ナマヘ  
 光秀 みつひで ナマヘ ○知らせ し コク ○聞く ○わばく ナカナ ホリ ○来て  
 いさばひ セイリ ヨク ○日一日 ひいちにち シニ ○盛に さか パニ ○古い ふる カヘタ ○勝 かつ  
 家 ○てきたひ ホロホソク トスルコト ○日本中 にっぽんぢゆう ○大名 だいみやう ノカシラ ○皆 みな ○言ふ  
 こと メイ レイ ○朝鮮 ちゆうせん ナマヘ ○せいばつ セメホ ロホス ○支那 しな ナマヘ ○大兵 たいへい  
 大クサンノ ○強い つよ イキツ ○日本兵 にっぽんへい ヘイタイ ○申し まを テイツ ○来ました ○  
 使の つかひ ○文 ぶん テガ ○中 なか ○日本國王 にっぽんこくわう ニツボンノク ○大そう たい ハン ○

追ひかへして オツツバ ○二度目 にどめ ○終ら おは ○病氣 びやうき イヤマ ○東山 ひがしやま ノナマヘ  
 ○山の上 やま ヲヤマノイ ○又 また ○神社 じんじや ヤ ○

第十六、鹽ト砂糖

○ツケ物 もの スルモノ ○ミソ タベモノ ノナマヘ ○醬油 しやうゆ ノナマヘ ○入レテ ○菓 くだ  
 子 タベモノ ノナマヘ ○中 なか ○少シ すこ ○ニモノ ニテタペラレ ルヤウニスル ○用フル もち ヲ  
 ○物ノ味 あじ ノアザ ○附クル ○大切 たいせつ シダイ ○モノニシテ モノデ アツテ ○  
 ニツ ○ウマカヲズ オイシクア リマセン ○出ヅレドモ デルケ レドモ ○海ノ水 うみ ミヅ  
 ○種々 しゆじゆ イロ ○砂糖キビ さとう トルクサ

第十七、上杉謙信

- 川中島 かはなかにしま トコロノ
- 戦 たたかひ イカ
- 名高い なだか イサメ
- 強い つよ イキツ
- 大將 おほしやう
- 相手 あひて ○武田信玄 たけだしんげん ナマヘ
- おどらぬ おどらぬ ナイ
- 上手 じやうず ヒト
- ある時 あるとき ○山の上 やまのうへ ○陣取つて じんと イクサノヨ
- 兵を へい ○右と左 みぎひだり
- 二手 ふたて ツマ ○分けて わ ○知つて し ○先がけ まき ○夜の間 よるあひだ カニ
- 陣 じん ソナ ○攻入つた せめい シメコ ○陣立 じんたて カタヘ ○引受け ひきう マチリ ○勝 かち
- 陣へ じん ソナ ○人 ひと ○居ら お ○急 きう ○馬 うま ○打乗つて うちもの ノルヨト
- 氣 き イ、タンキ ○味方 あいかた シブン ○立つて た ○本陣 ほんじん オホモト ○切り き
- 打つて う ○刀 かたな ○抜く ぬ ○ぐんばいうちは ぐんばいうちは キスルウチハ ○えが折れ えがを
- て モツトコロ ○かた先 さき タカ ○その時 とき ○後 あと ○やり先 さき ノハフデ

- カーぱい かーぱい ○上つた あが ○あやふい あやふい アブナイイノチ ○命 いのち ○い
- 又 また ○なさけぶかい なさけぶかい ○モイヤ モイヤ ○フカイ ○國 くに ○山國 やまくに ヤマノナ ○鹽 しほ
- 買つて か ○聞いて き ○何の なん ○苦し くる ○送ら おく ○死んだ しんだ
- をしい事 ことを ナコト

第十八、人のなさけ

- 身 み カラ ○北風 きたかぜ キタカラフク ○吹く ふ ○夕暮 ゆふぐれ ガタレ ○野中道 のなかにち ラノハ
- ナカノヒ トツミチ ○八つ やっ ○女の子 おんなこ ○顔に かほ ○泣いて な ○姉 あね ○立 た
- ち ○おなか おなか ハラノ ○物 もの ○子の こ ○手を て ○涙を なみだ ○女 をんな
- の子 こ ○目が め ○杖 つゑ ○もぎ取られ もぎと ラレルト ○道 みち ○知れ し ○わ



- るさ イダ ○誰 たれ ○子 こ ども ○大 おほ せい ノヒト ○手 て ○は は ふつ
- た ナゲス ○音 ね ○見 み え ○出 で 來 ○聞 き く ○妹 あね の ○道 みち ばた
- アタリ ミチノ ○少 すこ し ○く く さむら クサノシゲツ ○出 だ し ○拾 ひろ づて ○
- 取 と づて ○受 うけ 取 と づて ○二 ふた 人 ○行 ゆ くへ アルイテ ○見 み 送 おく れば
- 後 うしろ

第十九、熊

- 日本 にっぽん ○居 ゐ ル ○中 うち デ ○一 いち 番 ○強 つよ イ ○人 ひと ニ ○來 く ル
- 時 とき ○後 あと 足 アシ ノアシ ○立 たち 上 あが ツテ タツ ○大 おほ キナ ○手 て ○爪 つめ
- 毛 け 色 いろ イロ ○大 たい ガイ タイ ○黒 くろ デ イロノ ○所 ところ ○三 み 日 かづ 月 つき ナリ カメ

- ニテ ニテ ルツキ ツキ ○白 しろ イ毛 け ○月 つき ノワ ツキノヤウナカ ○皮 かわ ○シ し キ物 もの スハル
- シ し グマ クマノ ナマヘ ○小 こ 馬 うま チヒサ ○力 ちから ○大 たい テイ タイ ○一 ひと 打 うち デ イチ
- ク く ラ モノチシマツ ○戸 と ○明 あ ケ ○カ か ズノ子 こ タベモノ ○俵 たはら
- 行 ゆ ク ○又 また ○川 かは ○魚 うを ナ サカ ○竹 たけ ○枝 えだ ○通 とほ シ ○肩 かた
- 行 ゆ キ ○後 うしろ ○一 ひと ツ ○知 し リ ○拾 ひろ ツテ ○來 く ル

第二十、材木

- 材 ざい 木 もく キチサイテイヘナドナツ ○松 まつ ○杉 すぎ ○ヒ ひ ノキ キノナ ○栗 くり
- ケ け ヤキ キノナ ○多 おほ ク ○用 もち フル ○上 じやう 品 ひん ヨイ ○カ か タキ ハ
- カ か タイ ノハ ○栗 くり ○板 いた キチサイテヒラ ○又 また ○柱 はしら サイイタモノ ○家 いえ

○橋 はし ○船 ふね ヒツニウカベテ ○作ル つく ○多シ おほし ○カタクシテ カタク ツテ ○  
クサラザレバ クサラナ ○ドダイ オホ ○鐵道 てつどう キシヤノハ ○マクラ木 マ  
チツドウノセンロユヨコ ○桐 きり ○弱キ よわ ○輕ク かる ○美シ うつく ○本バコ ほん  
ニホセテオクザイモク ○ハキモノ ゲタナゾ ○山 やま ○出ス だ ○本箱 ほんばこ

第二十一、古机 ふるつくえ

○私 わたくし ○學校 がっこう ○年 とし ○今年 ことし ○三十年 さんじゅうねん ○間 あひだ ○色色 いろく  
○先生 せんせい ○何 なに ○聞かれ きかれ ○答へ こたへ ○出來 で ○顔 かほ ○赤く あか ○  
子供 こども ○しせい ナリ、カ ○氣を付けて きをつ イ チウ ○何 なに ○字 じ  
○書く か ○筆 ふで ○紙 かみ ○ほど が ○少し すこ ○度々 たび ○

一日 いちにち

○十人十色 じゅうにんじゅういろ シウニンハシウニン

○申し まを

○通り とほ

○顔 かほ

○

せいしつ

○友だち とも

○すかれた キニイラレ、シ

○善い よ

○人 ひと

○

悪い わる

○大てい たい

○一たい いつ

○七八人 しちはちにん

○墨 すみ

○附け つ

第二十二、むね上げ

アタラシクイヘチタテルトキイザパンシマイニ  
△ネトイフモノチアゲテ、オユワイチスルコト。

○むね ヤ子ノウヘニアツ

○上 うへ

○紙 かみ

○ぬさ ビラ

○立て た

○色 いろ

○ごつた イロチ

○大きな おほ

○弓矢 ゆみや

○扇車 せんしや センスノヤウナカ

○前 まへ

○おみき オユワイノト

○魚 さかな

○男 をとこ

○女 をんな

○年より とし

○子供 こども

○大せい おほ

○集つて あひま

○新しい あたら

○しるしばんてん オホキイシルシノ

○

着て き

○大工 たいく

○一番目立ち いちばんめだ

○間 ま

○投げる な

○拾ひ ひろ

○お祝 ゆわい

- さかもり サケチノ
- 一人 ひとり
- 年取つた としと
- はり上げ チカライツパイコ  
エチアゲルコト
- 木やり ウダノ
- 歌 うた
- 出す だ
- わかものごも ヲシタノ  
モノドモ
- 手打 てうち
- 口々 くちぐち
- イッシヨニ
- 羽織 はおり
- 主人 しゅじん
- 一同 いっどう
- 向つ むか
- 御苦勞 ごくらう

第二十三、港 みなと

- 廣イ ひろ
- 船 ふね
- 一パイ いっパイ
- 高イ たか
- ホバシラ ホチツケ  
ルハシラ
- 重リ かさな
- 合ツテ あ
- 林 はやし
- 見エル み
- 大キナ おほ
- 汽船 きせん
- ゴクフネ シヨキデア
- 間 あひだ
- 煙 けむり
- 出シ だ
- 早ク はや
- 走ツテ はし
- 行ク ゆ
- 小サナ ちひ
- ハシ
- 和船 わせん
- キノフ子 ニホンデ
- オキノ方 ほう
- クノハサ ウミノトウ
- 黒ク くろ
- 來 く
- チヒサイフ チヒサイフ
- ネノナマヘ ネノナマヘ

- 白イ しろ
- 帆 ほ
- 帆カケ船 ほカケフネ
- 正面 しょうめん
- カヒ カヒ
- 二本 にほん
- ニホン ニホン
- キテキ シヨキデア
- ナルフエ ナルフエ
- 鳴ラ な
- 今ニ いま
- 出帆 しゅぽん
- ケル ケル
- ハトバ フネチツケ
- 右 みぎ
- 着イテ つ
- 荷物 にもの
- 左手 ひだりて
- 積ミ つ
- 重イ おも
- 右 みぎ
- 牛 うし
- 何匹 なんびき
- イガ イガ
- 車ニ くるま
- 馬ニ うま
- 行ク ゆ
- 停車場 ていしやば
- キシヤノデアハイ キシヤノデアハイ
- 送ル おく

第二十四、大阪 おほさか

- 音 ね
- 難波 なには
- トコロ トコロ
- 仁徳天皇 にんてくてんわう
- テシサマ テシサマ
- 都 みやこ
- シタマヒシ オスマヒニ
- 秀吉 ひでよし
- 城 しろ
- メウガコシラ メウガコシラ
- エタイヘ エタイヘ
- キヅキシ コシラ
- エル エル
- 次第 しだい
- ダン ダン
- 商業 しょうぎや
- ナイ ナイ
- 盛ナ さかん
- 大都會 たいとくわい
- イマチ イマチ
- 立上ル たちの上
- テユク テユク
- 煙 けむり

○少すくなキ ○見みテ ○民たみシン ○ママツシシキコママ  
 ○大おほイ ○空そらシンテ ○市しちゆう中ナカ ○流ながル ○今いま  
 淀よど川かは ○分わかレ ○海うみ ○ソソ、グ ○又また ○多おほク ○川かは  
 堀ほり ○橋はし ○名な高たかキ ○船ふね ○出しゆつ入にうイリ ○シシゲク  
 ○停車場ていしやば ○汽き車しゃ ○船ふね ○出しゆつ入にうイリ ○發はつちやく着ツイタタリ  
 ○タタエズ ナイ ○タタエズ ナイ ○シシゲク

第二十五、かぞへ歌

○一ひつつ ○人ひと々々 ○忠ちゆう義ぎ ○第だい一いち ○ああふふげげや  
 ○高たかさ ○君きみのの恩おん ○國くにのの恩おん ○國くにのの恩おん ○父ちちのの愛あい  
 二ふたり人ひと ○おおやや御ご ○大たい切せつ ○思おもへ ○父ちちのの愛あい  
 枝えだ ○仲なかよよく ○暮くせせよ ○友ともとと友とも ○兄あに弟をと ○姉あね妹いも  
 四よつつ ○善よきき事こと ○悪わるしし ○六むつつ ○昔むかし ○考かんがへ ○今いまを  
 子こ供ども ○學まなび ○學まなび ○六むつつ ○昔むかし ○考かんがへ ○今いまを  
 光ひかり ○身みダカラ ○七ななつ ○人ひと ○力ちから  
 八やっつ ○病やまひ ○口くち ○入いる ○飲の物もの  
 氣きをを附つけけよよ ○心こころ ○九ここのつ ○心こころは ○高たかく  
 輕かろく ○十じゅうと ○遠とほき ○祖そ先せん ○守まもり

イガツテケ ○母ははのの愛あい ○仲なかよよく ○暮くせせよ ○友ともとと友とも ○兄あに弟をと ○姉あね妹いも  
 レルゴオン ○母ははのの愛あい ○仲なかよよく ○暮くせせよ ○友ともとと友とも ○兄あに弟をと ○姉あね妹いも  
 枝えだ ○仲なかよよく ○暮くせせよ ○友ともとと友とも ○兄あに弟をと ○姉あね妹いも  
 四よつつ ○善よきき事こと ○悪わるしし ○六むつつ ○昔むかし ○考かんがへ ○今いまを  
 子こ供ども ○學まなび ○學まなび ○六むつつ ○昔むかし ○考かんがへ ○今いまを  
 光ひかり ○身みダカラ ○七ななつ ○人ひと ○力ちから  
 八やっつ ○病やまひ ○口くち ○入いる ○飲の物もの  
 氣きをを附つけけよよ ○心こころ ○九ここのつ ○心こころは ○高たかく  
 輕かろく ○十じゅうと ○遠とほき ○祖そ先せん ○守まもり

尋常小學讀本卷六字引 終

教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學修身書第三學年

尋常小學修身書卷三

第一 くわうごうへいか

- くわうごうへいか クワウゴウヘイカ
- おみまひ オミマヒ
- 皆皆 ミナミナ
- 大そう ダイソウ
- びやうゐん ビヤウニン
- ぐんじん グンジン

第二 ちゆうくん

- 和氣清磨 ワケキヨモ
- うさはちまんの神 ウサハチマンノカミ
- 御をしへ オニシ
- しんか シンカ
- みぶん ミブン
- 天皇 テンノウ
- 御くらゐ オニクラゐ
- のぞ ノゾ
- 早く ハヤク
- のぞけ ノゾケ
- 神 カミ
- おつげ オツゲ
- 道鏡 ミチキョウ
- 申しあげ マウシアゲ

第三 かうかう

渡邊登ワタナベノボレノナヒト ○まづしい上ウヘノサヘニヒンバア ○父チチ ○けいこヒナラ ○又マタ  
 ソノ ○長い間ナガアイダ デモ ○父チチのかんびやうウキノセヤ ○少しもスゴ  
 トモ ○おこたりませんナマケ ○父母チチハハ ○山ヤマヨリモ高タカク、海ウミヨリモ  
 フカシタイソウアリ ガマイコト

第四 兄弟キヤウテイ

弟オトウト ○皆ミナ ○早くハヤから ○十四ジフシ ○年トシ ○八ヤツつ ○行ユ  
 く ○その時トキ ○雪ユキ ○とほい所トコロ ○行イつてテユイ ○なくなク  
 ナキナ ガラ

第五 べんぎやう

賣ウつて ○はげみヤサ ○その間アヒダ ○少スクナい ○毎朝マイアサ ○火ヒ  
 のあかり ○本ホン ○カンナン、ナンヂヲタマニスナンギクラウチシテペンキ  
 マノヤウナリツバ ナ人ニナレマス

第六 さりつ

重オモい役ヤク ○取立トリダてられケラレ ○日ヒ日ヒニチ ○じこくキト  
 シカ ○毎日マイニチ ○その通トホり ○おこなひましたシマ ○さりつキマ  
 ○大タイそろう ○上手ジヤウズ

第七 しやうぢやう

○出て ○さくらの木 ○切りたふし ○切つた ○時 ○私  
 が切りました ○答へて ○わびました マシタ ○六さいの時  
 ツン トキ

第八 友だち

○音 ○細井平洲 ナ人 ○たよつて来た時 ○長い間  
 ○むつましく ヨク ○まことの サノ ○兄弟 ○思つて  
 ナカ ホンダ キヤウダイ オモ

第九 師をうやまへ

○上杉鷹山 サマ ○先生 ○ある年 ○まねきピヨ ○来た時  
 ○みぶんの高い人 ナヒト ○出て ○寺 ○行つて ○休み  
 タカ ヒト リツバ テラ イ

○途中

○立つやうなことを

○うやまひ トビ

第十 きそくにしたがへ

○春日局 ナ人 ○ある夜 ○門 ○門ばんの役人 ○上役  
 ナン ○お通し申すこと ルコト ○出来ません ○言ひました  
 トホマセ

○夜風 カセ ○外に ○待つて

第十一 さやうざ

○松平好房 ナ人 ○小さい時 ノトキ ○かりそめにも ○父  
 マツダ ヒラヨシラサ ナチビ トキ コドモ デモ スコシ ナチ  
 母 ○居る方に ○足 ○よそに行くとき ○かへつて来たとき  
 ハウ アシ ユ カヘツテ  
 ○かならず トキツ ○父母の前に出て ○いただいた物  
 キツ チチハ マヘ テ モラヒタ



持つてゐました ○居なほつて

第十二 ゆうき

○木村重成 人ノ ○豊臣秀頼 シノ子 ○徳川家康 人ノ ○二十さい

○間もなく ○所へ ○使ひに行つて ○おめすおくせず

○役目 ○しどげ

第十三 かんにん

○ある時 ○小坊主 ○ののしつた上 ○打つてかからう

○こらへて ○見てゐた人 ○思ひ ○皆皆

○ナラスカニンニン、スルガカンニンニン

第十四 物ごとにあわてるな

○毛利吉就 人ノ ○人人 ○早く ○立ちのくやう

○荷物 ○火をふせいたり ○やさき

第十五 祝日

○新年 一月 ○きげんせつ ○天長せつ

○年のはじめ ○神武天皇 ○御くらゐ ○天皇へいか

第十六 くわうしつをたつとべ

○徳川光圀 ノサマ ○くわうしつ ○日本 ○よい國がら

○知らせ ○多くのがくしや ○集め ○日本のれきし

○書かせ ○楠木正成 人ノ ○みなとがは 國ニアル

第十七 けんやく

○紙 ○紙すきば カミナツク ○見せに ○紙すき女 ○冬の寒  
い日 ○水の中 ○たやすい事でない トデハナイコ ○さとり  
○むえきニ ムダ ○使はないやう

第十八 じせん

○昔 ○鈴木今右衛門 人ノ ○田はた ○着物 ○賣つて ○  
多くの人 ノヒト タクサン ○十二さい ○寒い日 ○同じ年ごろ ○女  
の子 ○物もらひ ○ひとへ物 ○一枚 ○言ひました ○よ

い方 モノ

第十九 おんをわすれるな

○彌兵衛 人ノ ○主人 ○流島し ヤラレタリ ○みの上 カラダ  
○あんじ イシンバ ○島へ ○見まひ ○行きたいと思ふて ○先  
づ ○一心 ケンメイ ○船をこぐ事 ○習ひ ○船のり ○  
はるばる クノ ○島に渡つて ツイテ

第二十 けんそん

○吉田松陰 ノナ ○久坂玄瑞 ノナ ○高杉晋作 ノナ ○言ひ ○  
けんそん ヘリクダリ、シ マンナセマコト ○ほめ合つて タガヒニ ホメアフ

第二十一 くわんだい

○貝原益軒カヒハラエキケンノナ

○名高ナダカい

○ある日

○るすの間

○一人ヒトリ

○大切タイセツシダイ

○ぼたんの花ハナ

○あやまちをわびソソウチアヤマリテ

○笑ワラつて

第二十二 けんかう

○小さい時トキノトキ

○弱ヨロかつた

○次第シダイダダンン

○八十五ハチジウゴさい

○

長生ナガイキ

○多くの本ホン

○出来デキ

○クスリヨリ、ヤウジヤウクスリチノムヨリ、フ

ダンカラ、カラダノヤウ  
シヤウガセニイチデアル

第二十三 じぶんの物と人の物

○馬子ウマゴカウマカタ

○家イヘ

○出デました

○お客キヤク

○大ダイそう

○おれい

の金カネ

○何ナニでドシテ ○言イつて ○うけ取トリ

第二十四 きようごう

○三本サンボン

○る本ホン

○誰タレにも出デ来キません

○その内ウチ

○一人イチニンの子コ

ごも

○中ナカほど

○立タたない

○きようごう

チカラチヒト  
ツニメルコト

○一人イチニン

一人イチニンヒト

第二十五 近所キンジョの人ヒト

○佐太郎サタロウノナ

○近所キンジョクチカ

○家イヘのやね

○そんじてソコニ

○村ムラ

の人ヒトたち

○少スコしづつ

○集ツマめ

○直ナホさせ

○竹タケ

第二十六 こうえき

尋常小學修身書卷三字引

- 村役人ムラヤクニン
- 土橋ドハシ
- 度度タビタビ
- 仲間ナカマ
- 石橋イシハシ
- 皆皆ミナミナ
- こ

第二十七 よい日本人ニッポンジン

- 忠義の心チュウギノココロ 天皇ヘイカニマコトナツクスココロ
- 友だちトモ
- 正直シヤウジキ
- けんそんケンソン
- けんかケンカ
- くわんだいクワンダイ
- 先生センセイ
- じせんジセン グムコト
- 受けた恩ウケタオン
- きょうごうキョウゴウ
- たすけ
- はげみハゲミ ホネナリ
- けんかうケンカウ ナルコト
- おんオン
- きょうごうキョウゴウ
- けんそんケンソン ヂマンセ
- くわんだいクワンダイ ヒロクユルヤカ
- けんかケンカ ナルコト
- けんかケンカ ナルコト
- けんかケンカ ナルコト

尋常小學修身書卷三 終

明治四十四年三月三十日印刷  
 明治四十四年三月十五日發行

不許複製

發賣所

教育研究會編纂  
 東京市京橋區南傳馬町三丁目十番地 發行 川 靜  
 東京市麴町區飯田町二丁目六十八番地 印刷者 遠 藤 廉 治  
 東京市麴町區飯田町二丁目六十八番地 印刷所 公 木 社  
 東京市淺草區 三好町七 大川屋書店  
 振替口座四〇九 電話下谷二五三  
 東京市京橋區 南傳馬町 東雲堂書店  
 振替口座五二四 電話京橋一六三  
 東京市京橋區 南傳馬町 圖書出版社

定價拾錢

小學教科書字解

第二三學年用合本

定價二十錢  
送料二錢

第四學年用

定價二十錢  
送料二錢

第五學年用

定價四十二錢  
送料四錢

第六學年用

定價四十二錢  
送料四錢



小學教科書字解

第二三學年用合本

定價二十錢  
送料二錢

第四學年用

定價二十錢  
送料二錢

第五學年用

定價十二錢  
送料四錢

第六學年用

定價十二錢  
送料四錢

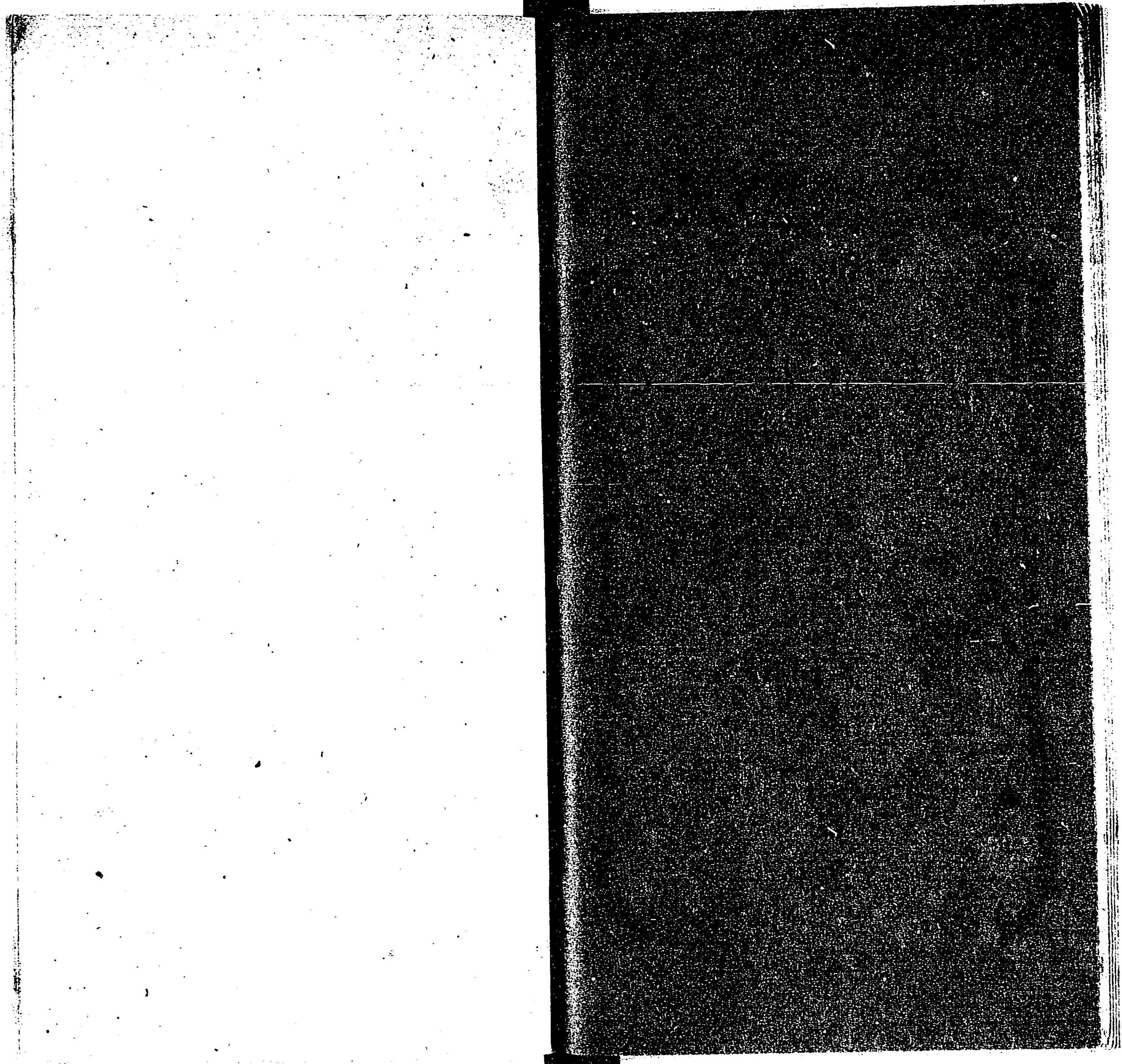
尋常小學讀本

尋常小學修身書

小學教科書字解

第四學年用

3  
512





彙

書字解

第四學年用





尋常小學讀本字引目次

卷七

第一、楠正行(一)……………一  
第二、楠正行(二)……………三  
第三、おなかの四季……………四  
第四、商業問答……………六  
第五、問合の手紙……………七  
第六、豆の一族……………八  
第七、塙保己一……………八  
第八、手ノハタラキ……………九

第九、蟹……………一〇  
第十、やき物とぬり物……………一二  
第十一、勤工場……………一二  
第十二、山内一豊の妻……………一三  
第十三、家の紋……………一四  
第十四、西洋紙と日本紙……………一五  
第十五、郵便の話……………一六  
第十六、東京見物(一)……………一七  
第十七、東京見物(二)……………一八  
第十八、犬……………一九  
第十九、水さからだ……………二一

目次

第二十、桃をねくる手紙……………二一  
 第二十一、海ノ生産(一)……………二二  
 第二十二、海ノ生産(二)……………二三  
 第二十三、何事と精神……………二四  
 第二十四、航海の話(一)……………二五  
 第二十五、航海の話(二)……………二六  
 第二十六、廣瀬中佐……………二七

卷八

第一、皇大神宮……………一  
 第二、參宮日記の一節……………三  
 第三、たけがり……………六

第四、寫眞をねくる手紙……………七  
 第五、働クコトハ人ノ本分……………八  
 第六、松下禪尼……………一〇  
 第七、白雀(一)……………一一  
 第八、白雀(二)……………一二  
 第九、ワザクラへ……………一四  
 第十、かぢ屋……………一五  
 第十一、花ごよみ……………一七  
 第十二、マツチ……………一九  
 第十三、火車……………二〇  
 第十四、電報……………二二

第二十六、名古屋……………四一

尋常小學修身書字引目次

第四學年

第一……………一  
 第二……………一  
 第三……………二  
 第四……………二  
 第五……………二  
 第六……………三

目次

第十五、藤原錄足……………二三  
 第十六、鳥……………二六  
 第十七、近江八景……………二七  
 第十八、木綿着物ノ由來……………二八  
 第十九、手紙……………二九  
 第二十、胃と身體……………三一  
 第二十一、虎と猫……………三二  
 第二十二、世界の話(一)……………三三  
 第二十三、世界の話(二)……………三五  
 第二十四、橋中佐(一)……………三七  
 第二十五、橋中佐(二)……………三九

目次

第十七	.....	八
第十六	.....	八
第十五	.....	七
第十四	.....	六
第十三	.....	六
第十二	.....	六
第十一	.....	五
第十	.....	五
第九	.....	四
第八	.....	四
第七	.....	三
<hr/>		
第十八	.....	九
第十九	.....	〇
第二十	.....	〇
第二十一	.....	一
第二十二	.....	一
第二十三	.....	二
第二十四	.....	二
第二十五	.....	二
第二十六	.....	三
第二十七	.....	三

教育研究會編纂

小學教科書字解

尋常小學讀本卷七

# 尋常小學讀本卷七字引

## 第一、楠木正行(一)

○正成まさしげ 義ノケライナダカキ忠 ○子こ ○父ちち ○オトラヌナイ ○忠義ノ士ちゆうぎノシ ヲキミニチ  
 ツクスサムラヒ ○戰死せんし シヌコトタタカツテ ○十一歳じゅういちさい ○ソノ折をり ツノト ○戰場せんぢや イクサナス  
 ○道ニテみち 櫻井驛トチユウデ ○我聞クわれき ○子ヲ生メバこヲウマヘバ ○三日みっか ○谷ソコたに ○力ちから  
 ○年とし ○十歳じゅうさい ○言フコトいフコト ○聞分ケヨきくわ ○コノ度たび ○戰たたかひ ○敵てき  
 ○大ゼイたい ○味方みかた ○小ゼイこ ○我ガわれ ○生キテい ○汝なんぢ ○カタカ  
 ルベシデキナイ ○死ニタル後しニタルノチ ○一門ノ者いちもんノモノ ノモルキ ○一人ひとり ○生キ

残りのこ ○間ま ○忠義ノ兵ちゆうぎノへい ヒハタラクヘイ ○起シおこ ○天皇てんわう ○御タメおん  
 ○孝行かうかう ○ネンゴロコトコ ○言ヒフクメイヒキ ○國ヘくに ○ハタシテ  
 トホリニ ○家ニいへ ○送ラレおく ○ツトツツ ○立チた ○別室べつしつ ホカノ ○行ゆ  
 キ ○母はは ○アヤシミヘンニ ○室むろ キザシ ○カタミノコシ ○刀かたな ○拔ぬ  
 キ ○今ニモいま ○ハラヲ切ランき ○走リヨリはし リテ ○分わか ラヌ ○ア  
 ルマジアル マイ ○考ヘ見ヨかんがみ ○大人おとな ○君ノ御タメきみノおん マノタメ ○賊ヲ平ゲぞくヲたひら  
 ヲルモノナリチホロホス ○ウケタマハリテキイ ○早クモはや ヤモハ ○君ノ御用きみノおん ノオヤクニ  
 ○立ツベシトモオボエズゴヨウニタツト ハオモハレナイ ○泣クな ンナキナ ○大イニおほ  
 ○教ヲ守リをしへ ○一日モいちにち

第二、楠木正行(二)

- 敵 ○強ク ○吉野山 ○カリノ皇居 オンスマイ ○楠木氏 ○守
- 戦ヒ ○アル年 ○大將 ○高師直 ○六万人 ○大兵 ○ヒ
- 来リ攻ム ○コノ度 ○サイゴノシマヒノ ○合戦セント
- 臣 フコト、ワタクシ ○合戦ノ場 バシヨ ○残り ○一門
- 集メ ○朝敵 ムクモノ ○申し殘シ コシノ ○スデニバ イマ ○男盛リ
- 及ベリ シタ ○病 ○早く ○死ナバ ラシニダ ○不忠ノ臣 カケタケラ
- 不孝ノ子 ○今一度 ○天顔 ノオンサマ ○涙ナガラニ コホシテ ○ミ
- 高クマキ上ゲ ○近ク召シ ビニナツテ ○親子二代 ○相
- カンズルニアマリアリ コトデアル ○ナンギツライ ○進ム
- 時ヲ見テスベシ ヨクバアヒミサダ ○汝 ○タノミニ思フゾ
- オホセ出サレノタマフ、 ○戰場ニ向ヒ ヘユキ ○花々シク
- 一族ノ人々ノヒトビト ○戦死ヲトゲ シマシタ ○十三年目 ○二
- 如キハ ○忠孝 カウカウ ○二ツノ道 ミチ ○全ウシ ゲタ
- 國民ノ手本

第三、おなかの四季

- 道 ○畠一面 ○麥 ○桑 ○花盛り ○たもとも軽く ○桑
- ひばりノナ ○吹くや ○春風 ○たもとも軽く ○クワイテキタ ○桑
- 眠る蝶々

つむ ○をとめ オナゴ、コチンナ ○日ましく マイニチ ○はるご ハルノ ○太  
る ○すげがさ スゲノハデ ○涼しい スズシイ ○歌ひ ウタ ○さなへ イネノ ○夏  
の日 ヒ ○いつしか イツノマニカ、 ○暮れ スギ ○手先 テサキ ○月かけ ツキ ○動  
く ○道々 ミチミチ ○葉末々々 ハノサキ ○夜つゆ ヨ ○光る ヒカ ○二百十日  
○事なく ナニゴト ○村の祭 むらまつり ○稻 いね ○實がいる み ○日より ヨイデ ○刈  
つて ○米 こめ ○俵 たばら ○家内 かない ○え顔 がほ ○顔 かほ ○松を火にたく  
○ゐろり ヒチオコストコロ、 ○夜は よる ○よもやま話 ほなし ○はずむ トギ  
ヒチオコノヤウナモノ ○母 はは ○てぎは シラヘダ、コ ○大こんなます だい ○ねずみの音 ねずみ  
ヒチオコノヤウナモノ ○年こしざかな とし ○ねずみの音 ねずみ ○ふけ

て フケテ ○のさば ハシ ○雪 ○降積る

第四、商業問答

○商賣上 しやうばいじやう ○げんさん スゲ金ニテ、ウ ○かけ カシウリニ ○何の事 なん ○品  
物 ○引さかへ ひ ○代金 だいぎん シナモノチカツ ○受取る うけと ○現金 げんぎん ○渡し  
○代金 だいぎん ○かけね ネダンチタカクシテ、ソ ○全く まったく ○ねぎられ ネダンチマ  
○引く積りて ひ ケルツモリ ○直段 ねだん ○十五錢 じよごせん ○賣つて ウリ ○二十錢 にじふせん ○正  
直 ○商人 しやうじん ○小賣 こらい ○卸賣 おろし ○商人 しやうじん ○使ふ人 つかひ ○賣渡す ウリわた ○小  
賣商人 ウりしやうじん ○持つてゐて も ○小賣店 こらいみせ ○大口 おほぐち ○賣渡す ウリわた ○卸賣商人  
○問屋 とんや ○他人 たにん ○賣つたり ウリ ○買つたり か ○口錢 こうせん ○店 みせ ○はた

屋キモノノチオ  
 ルトコロ  
 ○織物  
 ○買集め  
 ○方々  
 ○ごふく屋  
 ○分けて賣  
 る  
 ○米の出来る所  
 ○場合キ

第五、問合の手紙

○急きよに  
 ○商用シヤウヤウ ヤウノヨウジ  
 ○出来て  
 ○明朝六時ミョウテウ アシタノア  
 ○汽車  
 ○東京トウキョウ ○用事ヨウジ ムキ  
 ○四五日シヤウジツ ○十日トウカ  
 ○居ます  
 ○急ぎます  
 ○う  
 かゞひません  
 マセン  
 ○何か  
 ○ととのへて  
 カヒモ  
 ○御えんりよ  
 ○宿  
 ○高橋忠一タカハシチゆういち ○同じく  
 ○鈴木愛吉様スズキあいきちさま  
 ○お着  
 ○存じ  
 ○時節ジセツ  
 ○お  
 上り  
 ○申し上げ  
 ○種物屋タネモノヤ イロノノタ  
 ○西洋西瓜セイヤウスイカ ○種タネ  
 ○三  
 色  
 ○色々  
 ○願ねがひ  
 ○又  
 ○かね  
 イカラ  
 ○草花クサバナ  
 ○二三

種しゆカマイロ  
 ○花の種類ハナノシるゐ タグロ

第六、豆の一族

○藤の花フジ ○咲さいて  
 ○風が吹く度かぜ ○動うごいて  
 ○畠はたけ ○かきの外と  
 ○とくにトウニ、ハ ○思おもつて  
 ○私わたくし ○親類しんるゐ  
 ○お心安こゝろやすく  
 ナカヨク  
 ○願ねがひ  
 ひ  
 ○間あひだがらツ、キ  
 ○問とへば  
 ○大たいそう  
 ○似にて  
 ○第一だいいち  
 ○豆まめ  
 ○葉は ○羽形はねがた トリノハネノ  
 ○二枚ふたまい ○向むかひ合あつて  
 ○同じく  
 ○蝶てつの  
 形かたち  
 ○大豆ダイズ ○小豆セウブ ○豆類まめるゐ  
 ○承うけたまはりシタ  
 ○藤豆フジマメ ○次第しだいカ  
 ○お美しい花うつくし ○春はるの野の  
 ○咲さく ○れんげ草らんげくさ

第七、塙保己一

- 字
- 讀メザル
- 大學者
- 九歲ノ時
- 書物
- 聞
- 一心ニケンメイニ
- 勉強
- 名高キ學者
- 多ク
- アラハ
- 家
- 江戸
- 番町
- デシト
- 學ビ
- 時ノ人
- 目アキ目クラ
- 弟子
- 集
- 講義
- 風
- 吹キ
- トモシビ
- 先生
- 少シオ
- 消エ
- 笑ヒ
- 不自由
- 待チ下サイ

第八、手ノハタラキ

- 取ル
- 拾フ
- 握ル
- 持ツ
- 投ゲル
- 手
- カユイ所
- 家
- 左官
- センドウ
- 船
- 農夫
- 田
- 島
- 色々
- 仕事
- 手ノ足リナイ
- 少イ
- 國
- 多ケレバ
- 多
- イ程
- 盛ニ
- フトコロ手
- 筆一本
- 美シイ
- 見事
- ホリ物
- 感心
- ガクキモノ
- オモシロイ音
- 何事
- 上手
- 下手
- 四本
- 色々ナ物
- 動カシ
- 何ノ役

第九、蠶

- 一匹
- 蠶ノ口
- 絲
- 五六町
- 長い絲
- 蟲
- 百匹
- 木
- 手間
- 考へる
- あたい
- 高い
- 卵
- かへつ
- 綿は
- 絹織物
- 織る
- 絹



た アタマレ ○あり フムシ ○長さ ○一分 ○一月 ○小指程 ○黒  
 い ○青白 ○かへりたてから ナツタバカリカラ ○食物 ○桑の葉 ○食  
 ひ ○時分 ○切つて ○枝 ○頭 ○木の葉 ○雨 ○降りか  
 る ○音 ○二萬匹 ○人一人 ○附きりり ○眠る ○二十五  
 日 ○四十日 ○四度 ○眠る度 ○皮 ○作つた ○まぶし ユガ  
 ヘウツシテヤシナフモノ ○口 ○美しい絲 ○包む ○出來上つて ○外  
 ヘ ○さなぎ アシハナク、メンアリ ○二十日 ○蝶 ○破つて ○む  
 し ユテ ○産んで ○間もなく ○死んで ○産みつけ ○蠶卵  
 紙 ○一匹 ○四五百程 ○春 ○夏 ○秋 ○三度 ○昔 ○養  
 蠶 ○盛な國 ○生絲 キアガラヌモノ ○外國 ○賣出す ○品物 ○第一

第十、やき物とぬり物

○茶わん ○土びん ○皿 ○重箱 ○土 ○又は ○石 ○焼く  
 ○かくして ツテ ○出來たる ○すやき マノモノ ○我ら シドモ ○用  
 ふ ○類 ○うはぐすり ルクスリ ○花鳥 トリ ○山水 ミズト ○人  
 物トヒ ○前に ○塗物 ○くりたる木 ツタモノ ○組合せ ○木 ○竹  
 ○紙 ○塗り ○黄 ○赤 ○黒 ○青 ○色を着け ○金 ○銀

第十一、勸工場

○町 ○新シイ ○入口 ○右ノ方 ○皿 ○焼物 ○賣る店 ○左

- 筆ヒツ ○墨スミ ○紙カミ ○折マレルトマルトガ ○繪エ草紙屋カ ○品物シモノ ○兩リョウガ
- ハ ○道ミチ ○前マへ前マへ ○進スンデ ○後ウシロへ ○引ヒキカヘサナイ ○通トス
- リ道ミチ ○割わり合あひ ○出で口ぐち ○近ちかイ所ところ ○着き物モノ ○羽は織おり ○賣うツテ ○鍋なべ ○釜かま
- 鐵てつピン ○火ひバシ ○金物屋かなものや ○荒物屋あらいものや ○日用品にちようひん カウシナ ○何なん
- デモ ○皆みな ○正札附しやうさつたつきデネイテアツテテ ○カケ直ね レルマネダン ○番人ばんにん ○居ゐ
- テ ○買かハウト思おもフ ○一いちドニ色いろ々くナ物モノヲ買かひ集あつメタイ時ときニハ ○便べん利り ハウ

第十二、山内一豊の妻

- 山内一豊やまのうちのちかざとよナマヘ ○織田信長おだののぶながナマヘ ○よい馬うま ○賣うりに來きた者モノ ○思おも
- 引ひいて ○金かねがない程ほど ○殘念ざんねん ナイ ○武ぶ士しラヒ ○ひとり
- 言こと ○妻つま ○聞きいて ○夫おつとに ○向むかつて ○いいか程ほど クラキ ○金きん
- 十兩じゆりやう ○鏡箱かざみばこ ○貧ましい暮くらし ○大たい金きん ○特とくつて ○一ひと言こと ○一いち
- 大事たいじ タイヘンナコトガ ○折オリにキト ○使つかへ ○渡わたして ○人ひとの話はなし ○御ご
- 主人しゆじん ○織田様おださま 信長しんぢやうナ ○近ちかいうち ○京きやう都と ○馬うまぞろへ ○オホク
- ルコト ○皆みな様 ○乘のつて ○お集あつり ○大たい事じ ○考かんがへ ○今こん
- 日ひ ○禮らいをのべ ○名馬めいば々々くく ○ヨイウマ ○誰たれの馬うま ○日ひごろ
- ラカ ○見み上げた志こころざし ナコハロン ○武ぶ士し ○感かん心しん ○出しゆつ世せ

第十三、家の紋

- 紋どころ モン ト ○いふもかしこし マサスモオ ○菊 キク ○桐 キ ○楠 ク
- 木父子 キコ ○菊水 キクスイ ○忠義のかをり チユウギノ ○なほ高し タカ イマデモ
- いほりもかう モン ○孝行 カウカウ ○曾我兄弟 ソガニイライ 五郎、十郎 チナサス ○知られ シラレ ○二 ニ
- つどもゑ ツドモエ ○三つ星 ミツホシ ○四つ目 ヨツメ ○九曜星 クウウセイ ○梅ばち ウメバチ ○櫻 サクラ
- たちばな タチバナ ○三がい松 サンガイマツ ○さゝの雪 ササノユキ ○上り下りの藤の紋 ウヘガサガフジノモン ○た
- かの羽 カノハ ○つるの丸 ツルノマル ○家の氏の名 イヘノウヂノナ ○紋の数々 モンノカザツ

第十四、西洋紙ト日本紙

- 向ツテ ムカフテ ○世ノ中 ヨノナカ ○君たち キミタチ ○仲間 ナカマ ○僕ラ ボク ○用ヒ モチ
- 毎日 マイニチ ○新聞 シンブン ○書物 シヨモノ ○近 チカ ○見 ミ ○聞 キ ○言 イハ ○思 オモ ○為 シ ○成 ナリ ○事 コト ○物 モノ ○人 ヒト ○名 ナ ○所 トコロ ○方 カタ ○時 トキ ○分 ブン ○秒 ビョウ ○分 ブン ○秒 ビョウ ○分 ブン ○秒 ビョウ

- 扇 アヒ ○表ダケ ウラダケ ○役ニ立タナイ ヤクニタチナイ ○裏表 ウラオモ ○使ハレル シハレル ○便 ベン
- 利 リ ○破レ易ク ヤブレル ○少シモ オウシモ ○強ミ ツヨク ○水引 ミヅヒキ ○丈夫 ジヤウブ
- イッヨ イツヨ ○裏へ ウラヘ ○通ラナイ トウラナイ ○笑ツテ ワケツテ ○合羽 カッパ ○何デモナイ ナンデモナイ
- イコトダ イコトダ ○又 マタ ○葉書 エガキ ○切手 キッテ ○印紙 インシ ○神ダナ カミサマ マツルダナ
- 指サシ ササヒ ○御札 ミツタ ○ゴヘイソク ゴヘイソク

第十五、郵便の話

- 松村 マツムラ ○配達夫 ハイダツフ ドケルヒト ○入口 イログチ ○お花 オハナ ○答へ コタヘ ○受 ウケ
- 取らん トル ○母 ハハ ○出て来り イデテキ ○六錢 ルクセン ○一通の手紙 イツツウテガミ ○三錢 サンセン
- 切手 キッテ ○拂ふ ハラフ ○問へり トヒタシ ○四夕 シヨク ○重 オモシ ○倍 バイ ○差 サシ

- 出人 シタヒト ○不足 ナイ ○受取人 ケトルヒト ○教へ コ ○小
- 包郵便 チアチコチトハコブコト ○二百匁 ニヒヤクマンメ ○近い所 チカところ ○遠い所 トビところ ○内
- 地 ホントカラノニ ○割合 ワリあひ ○安い ヤス ○五厘 ゴリン ○寫眞の類 シヤシンのるゐ ○手紙 テガミ
- 昔 ムカシ ○ひきやく テガミヤシナモノ ○配達 ハイタツ ○早く ハヤ ○賃錢 チンゼン
- ウダイキン ○便利 ベニリ ○配達 ハコ ○早く ハヤ ○賃錢 チンゼン

第十六、東京見物(一)

- 新橋停車場 ○上野行 ○電車 ○乗ル ○銀座通 ○二
- ギハシサ ニギヤカ ○目ヲオドロカス ピツクリ ○十五分 ○日本橋
- 魚市場 サカナノイチチ ○賣買 バイカ ○カマビスシ ヤカマ ○上野
- 公園 ○着夕 ○廣キ ○動物園 イキモノチカク ○種々 シロシロ ○動
- 物 モノ ○集メ ○博物館 ベチ人ニミセルトコロ ○櫻ノ木 ○多シ
- 春ノ花盛リ ○美シ ○櫻ガ岡 ○見下セバ ○人家 ヒトノス ○雷
- 三分ノ一 ケタニ ○足ラズ ○淺草ノ觀音堂 ○淺草行 ○雷
- 門 ○兩ガハ ○店 ○勸工場 ○入り ○コ、チス コト
- 仁王門 ○拜シ チガ ○水族館 サカナチカヒ ○種々 シロシロ
- 見セ物 ○隅田川 ○ホトリ チフ ○向島 ○名所 ナダカイ

第十七、東京見物(二)

- 今日 ○九ノ内 ○宮城 ○拜シ奉ル チガミ ○御堀 ○寫

眞

○見知り

○二重橋

○廣場

○銅像

アカカネニテ正成ノ馬ニノ  
リタルカタチヲゴシラヘタ

花

○櫻田門

○日比谷公園

○新シク

○古木

○草

○咲キミダレ

○池

○運動場

○海軍省

ヨノナ

○官省

○洋風

○九段坂

○靖國神社

○社

○遊

就館

○見渡スカギリ

○明日

○芝公園

○四

十七士ノ墓

○マウデン

第十八、犬

○種類

○大なる

○小馬の如く

○小なる

○猫

○小

○あばら骨

○數へらるゝ程

○やせ細り

○肉

○ゆ

れ動く程

○こえ太り

○毛

○短き

○指さき

○羊

○地

面に達す

○頭

○顔長く

○狐

○耳

○尾

○短

○一々

○數へがたし

○なれ易く

○主人

の命

○守る

○昔

○三年

○恩

○耳ざと

ノコイ

○動物

○眠れる

○足音

○聞けば

○た

どちらに

○夜を守らしむる

○鼻

○かぎ分く

○か

りトリ

○えもの

○適す

○外國

○牛

かひ

○羊かひ

○二三匹

○二三百頭

○追ひまはし

○寒き國

○そり

○數人

○乗せたる

○そり ユキノ上チノ ○山國 ヤマノタクサ ○藥品 ヤクヰン リクス ○食物 シヨクモノ ○旅 リョ  
 人 ジン タビス ○近ごろ チカ ○戰場 センジャウ サバク ○兵士 ヘイシ タイヘイ ○食物 シヨクモノ ○旅 リョ

第十九、水とからだ

○飲まない ノ ○茶 チヤ ○汁 シユ ○すひ物 モノ ○酒 サケ ○す ス イモノ ○醬油 シヤウユ  
 ○ふくんで居り ミツチモ ○湯 ユ ○病氣 ビヤウキ ○かゝり易い ヤサシ ○冷水浴 レイスイヨク ニアピルコト  
 ○海水浴 カイスイヨク アピルコト ○ひふ カラダ ノカハ ○強く ツヨク ○さわやか サツ ○生 セイ  
 活 クワツイキテアルコト ○大切 タイセツ ○生きて イキテ ○冷い ツメタ ○長く ナガク ○氣を附け キヲツケ  
 ト、クラシ

第二十、桃をおくる手紙

○じゆくし ヨガ イル ○差上げ サシアゲ ○一昨年 イツサクレン ○つぎ木 ツギキ キチキツテホカノ ○わ  
 か木 カキ アタラシク ○梨 ライ ○今年 コトシ ○實 ミ ○分 ブン ノモ ○味 アジ ○やしき中 ヤシキナカ  
 マハリノニ ○皆 みな ○一そら イツソラ ○手入 テイレ ○來年 ライネン ○思つて居ります オモツテイマラス ○佐 サ  
 藤真一 トウシンイチ ○村田新太郎様 ムラタシンタロウサマ ○同じくへんじ オナジクヘンジ ○見事 ミコト バツ ○有 アリ  
 がたう ○存じ ソンジ ○味 アジ ○美しい ウツクシイ ○おすそ分け オスソワケ テヤルコト ○植 ウ ゑ  
 ○その内 ウチ ○參上 サンジヤウ ツテ ○お禮 オレイ

第二十一、海ノ生産(一)

○魚 ウシロ ○貝 カイ ○ソノ外 ソノハカ ○色々 いろく ○動物 ドウブツ モノイキ ○植物 シヨクブツ キクサ、 ○魚類 ウシロルイ  
 ○表面 ヘウメン テオモ ○近イ所 チカトコロ ○岩 イワ ○海草 カイソウ テルクサ ○砂地 サチ ○沈 シツ ンデ

- 横ニ
- 様子
- 池
- 川
- 様
- 面白イ
- 砂
- 泥
- 中々
- 軍カン
- 汽船
- 時々
- 眞珠貝
- 指ワ
- エリドメ
- ヒ
- 蟲
- 骨
- 類ヲドシ
- 集ツテ
- 形
- 玉
- ラジメ
- ツケルタマニ
- 蟲
- 洗ツタリ
- 使フ
- 海綿
- 陸カチ
- 似タモノ
- 鯨
- 象
- 一番
- 大人
- 赤子
- ノコドモ

第二十二、海ノ生物(二)

- 深イ所
- 何千
- 近イ淺イ所
- コノ他
- 尾
- 似タ
- ウチハナリ
- カニ分レ
- イ
- 花ガ咲カナイ
- 浮イタリ
- 沈ンダリ
- ヒロ
- 肥料
- 様々
- 廣ク
- 細
- 一ガイ
- 葉
- 莖
- 波
- 岸
- イテルトコロ
- 一様デハナ
- 中間

第二十三、何事も精神

- 雨だれ
- 休まず
- 打つ時
- 石
- 穴
- うがつ
- 我
- 人と生れきて
- 一たん
- 心定め
- キメル
- 事に動か
- など成
- さそはれず
- はげみ進む
- 何事の
- なご成
- 鐵石
- いそしめば
- 塔
- さづ
- 千里の波
- 渡る
- めあて
- 定め

○むき目もふらず  
○怠らず  
○ばんじやく

第二十四、航海の話(一)

○航海  
○終へツテマ  
○歸り來れ  
○明治丸  
○船長

○一日  
○町  
○學校  
○話  
○私  
○子供  
○毎日

○通つて  
○同じ様  
○運動場  
○體操  
○講堂  
○汽船  
○軍艦  
○今

○何より  
○年中  
○御存じてせう  
○汽船  
○軍艦  
○六

○乗組  
○人員  
○港  
○次第  
○人家  
○段

○海岸  
○松原  
○次第  
○遠く  
○向

○青い水  
○日の出  
○日の入  
○光

○金色  
○月夜  
○銀の様  
○光つて  
○言ひ様があり

○鯨  
○頭  
○水け  
○吹いて  
○何萬  
○とび魚

○甲板  
○外國の港  
○着く  
○形  
○風ス

第二十五、航海の話(二)

○船長  
○一口飲み  
○面白  
○急に  
○暴風雨  
○山の

○沈む  
○大雪  
○降つたり  
○一寸先  
○方角  
○悪

○浅瀬  
○乗上げ  
○外の船  
○深さ  
○さつてさ

○鳴らし  
○らしんぎ  
○進んで  
○くら暗く



- ても ○星 ○便つて ○場所 ○海岸 ○燈臺
- 見分ける ○船に乗る者 ○大切 ○いひ終へて ○恐れる人 ○一段
- 聲をはり上げ ○海國 トリマククニ ○海國の國民 ○商賣 ○用
- 渡船 ○自分 ○海國の國民 ○漁業 ○仕事

第二十六、廣瀨中佐

- 大砲 ○天 ○思フバカリナリ ○廣瀨中佐 ○福井
- 丸 ○旅順 ○港口 ○爆發 ○船
- 杉野 ○點火 ○總員

- 一同 ○見渡セバ ○心配ゲ ○來ン ○船内
- 殘念 ○今一度 ○スルドキ聲イコエ ○敵 ○砲聲
- 聞ユ ○次第 ○甲板 ○ゼヒナシ ○四隻
- 爆沈 ○乗員 ○思ヒ ○盛ナリ ○雨ノ如ク
- 砲臺 ○砲丸 ○包マレ ○坐シテ
- 降リン、ゲリ、ハル ○シブキ ムリ ○包マレ ○坐シテ
- ウシナヒ ○ナゲキキタリ ○一發 ○身
- 拂ヘリ ○一片ノ肉 ○殘シ ○ハウムラレ

尋常小學讀本卷七字引 終

尋常小學讀本卷八字引

第一、皇大神宮 すめらだいじんぐう テンシサマノゴセンゾ

○代々 よよ ダイ だい ○天皇 てんわう サマ サマ ○たふとび たいせつ スルコト ○たまふ ミブ カイヒト

トキニ トキニ ○さばめて さい ソウ ソウ ○國民 こくみん ニツホンコク ミン ナイフ ○深く ふか ○うやまひ ウ ケイ

スル スル ○奉り たてまつ ○一生 いっしやう サマレテカラシ ヌ マデノアイダ ○一度 いちど ○伊勢 いせ ナマヘ ○參 さん

拜せん はい シヤウト オ マイリ オ 心かけざる しん カケザル オ モツテ オ 諸子 しよし サン オ かくばかり

ナニ ナニ ○いはれ い ケラ シ ツテ シ 井 シ 神代 かみよ カミサマバカ リ ヨノナカ ○昔 むかし

○皇祖 くわうそ テンシサマ ノ ゴセンゾ ○天照大神 あまてらすおほみかみ カミサマ ノ ナマヘ ○瓊々杵尊 にぎはひのみこと カミサマ ノ ナマヘ ○こ

の國 くに ニツボン ノ ○降し くだ カミサマハクモノウヘニバカリオ井テニナルカ ラ ゲカイヘオ井テニナルコトチクダルトイフ ○時 とき ○八

咫鏡 タカガミ ラノヒトツノカガミデマ

○授け オツタシニ ナルコト

○見 ミ

○我 ワレ

○如くせ ごと

よ ヤウニオモ イナサエ

○おほせられたり オツシヤ イマシタ

○神勅 しんちよく カミサマノ

○神勅 しんちよく オイイツケ

○宮中 きうちゆう

テシサマノ ゴテンノナカ

○あがめ マツル コト

○後 のち

○神殿 しんでん カミサマ

○今 いま

○五十鈴 いすず

トコロノ ナマヘ 川上 かはかみ カハノウ

○造り つく ラヘ

○御鏡 おんかみ ノコトナイフ

○今 いま

○御神 おんしん

體 たい カミサマノ

○昔ながら むかし ノママ

○白木造 しろきづく キチツメナドシナイデケツツ

○承る うけたまは キイテ井ル、ソシケイ

二十年 にじゅうねん

○新し あたら

○造らせ つく

○御定 おさだめ マリ

○承る うけたまは

○勅使 ちよくし テンシサマノ

御宮 おみや

○一年中 いちねんぢゆう

○重だち おも セツ

○祭日 さいじつ リビ

○勅使 ちよくし

○國家 こくが ボン

差立て さした ニナル

○皇室 くわうしつ ルイノスベテナイフ

○及び およ

○國家 こくが

終り はつ マイ

○陛下 てんか フダケニツカフ

○御參拜 おんさんぱい イリ

○平和 へい ツカナコト

成り なり

○御式 おんしき

○盛 さかん パリツ

○前古 ぜんこ イママデ

○申す まを テ井ル

第二、參宮日記の一節 さんぐうにっき いっせつ イセノクニノスメラダイツンケウニオマ

十月十七日晴 じゅうがつじゅうしちにちはれ

○雨 あめ

○夜中 よなか

○今日 けふ

○うらゝか ハレテキモ チノヨイ

○天 てん

氣 き ○家々 いへいへ イヘモ

○日の丸 ひのまる タイヤウノカタ

○旗 はた

○立て た

○八時 はちじ

宿 やど ヤド

○出で い

○町 まち

○南 みなみ

○行け ゆ

○宇治橋 うぢはし ナマヘ

○たも

御山木細工 みやまぎざいく シラヘタオモチヤ

○貝細工 かいざいく カイデコシラ

○賣る う

店 みせ

○多し おほ

○五十鈴川 いすずがは ナマヘ

○流 ながれ ルアリサマ

○早く はや

○水 みづ

清らか きよ イナコト

○橋 はし

○渡り わた

○神苑 しんえん ノオニハ

○入る い

○廣き ひろ

道 みち ○左右 さゆう ミギヒ ○梅 うめ ○松 まつ ○櫻 さくら ○植ゑ うゑ ○明治二十七八年 めいしに じゅうしちはちねん

ニツボンガシナト ニツボンガシナト ○及び およ ○三十七八年戰役 さんじゅうしちねんせんえき ニツボンガロシヤト ○戰利 せんり

品 ひん シナドリノ ○大砲 たいほう ○日本海海戰 にっぽんかいかいせん トーゴ一タイシヨウガニツボンカイテロシ

クサ ○記念砲身塔 きねんほうしんとう ノチノヨマテノコシタイタメ、タイハウノツ、ノ ○いづれ いづれ ドレ

○内に うち ○少し すこ ○進め すす ○數千年 すうせんねん ○へたらんかど へたらんかど ノカト ○思はる おも

○老木 らうぼく トシトツ ○枝 えだ ○高く たか ○天 てん ○神々しさ かうくしさ ツテアリガタサウナア

リサ ○いはん方なし いはんかたなし ナントユツテヨイカクチ ○口すゝぎ くちすゝぎ クチチミツニ ○手 て

洗ひ あら テチアラツ ○左 ひだり ○神樂殿 かぐらでん オカケラチマ ○御馬屋 おんうまや カミサマ ○前 まへ

門 かど ナマヘ ○拜し をがむ ○奉る たがふ ○御垣 おんかき キネ ○うかいひル うかいひル ○御 おん

屋根 やね コト ○かや かや ナマヘ ○ふさ ふさ トキダケニツカフ ○棟 むね ウヘニアツテヤ

ネノモトト ネノモトト ○かつを木 かつをぎ キノナ ○雨はし あめはし リヨウハシ ○千木 ちぎ オミヤノヤネノト

○うちちがへ うちちがへ クヒチガ ○材 ざい モク ○皆 みな ○ひのき ひのき キノナ ○白木 しろぎ ツ

ツタマ ○用ひ もち ○金色 きんいろ ○金物 かなもの カナド ○日 ひ ○他 ほか ○何の なん

○質素 しつそ ナ ○御かまへ おんかまへ リサマ ○かしこく かしこく ツカフコトバ ○かたじけ

なし ナシ ソレオホイ ○どこしへ どこしへ ヒヤクマンネン ○民 たみ タミ ○安かれ やす シブ

テアテツク テアテツク ○我が世 わがよ コノニツボ ○守れ まも ○伊勢の大神 いせの おほがみ イセノスメラダイ

○御製 ぎよせい ツクリニナルオウタ ○思ひ出で おもひい オモイ ○國體 こくたい ガラ ○身に みに カラ

○宿ヤド ○歸かへり ○一休ひとやすみ ○後のち ○外宮げぐう ○參拜さんはいす  
 ○御有様おんありさま ○夕方ゆうがた ○おほよそ ○内宮ないぐう ○同じ ○神かん  
 嘗祭なめまつり ○夕方ゆうがた ○勅使ちよくし ○參拜さんはい ○年ねん  
 來らいゴロシ ○達たつし ○何等なんらの幸さひをや ○參拜さんはいイリ ○年ねん  
 ○何なん等らの幸さひをや ○參拜さんはいイリ ○年ねん

第三、たけがり

○秋あき ○日ひ ○空そら ○すみわたり ○風かぜ ○暖あたたか ○さ  
 ても ○や ○山遊やまあそび ○友とも ○よと  
 手てかぞ ○持もち ○いざ ○友とも ○よと  
 ○たづねん ○山深やまふかく ○行ゆき ○たづねり ○細路ほそみち  
 ○かうばしく ○山風やまかぜ ○かをれり  
 ○根もと ○まづア ○見みつけつ ○高たかく ○呼よび

○松まつ ○岩いわ ○小こかげ ○皆みな ○えもの ○數かずへ ○い  
 ○づたひ ○かうばしく ○山風やまかぜ ○かをれり  
 ○根もと ○まづア ○見みつけつ ○高たかく ○呼よび  
 ○やまびこ ○呼聲よびこゑ ○いであ  
 ○小かげ ○皆みな ○えもの ○數かずへ ○い  
 ○岩いわ ○小こかげ ○皆みな ○えもの ○數かずへ ○い  
 ○小かげ ○皆みな ○えもの ○數かずへ ○い

第四、寫眞をおくる手紙

○間あひだ ○來き ○うち中うちなか ○者もの ○私わたくし ○一人ひとり ○雨あめ  
 ○一枚いちまい ○差上さしあげ ○三郎さむらう ○笑わらつて ○寫うつつて ○一いつしよ ○  
 ○過ぎ ○よそ行よそゆき ○三郎さむらう ○笑わらつて ○寫うつつて ○一いつしよ ○  
 ○過ぎ ○よそ行よそゆき ○三郎さむらう ○笑わらつて ○寫うつつて ○一いつしよ ○

母様 ○十一月五日 ○伯母上様 ○同じく ○返事 ○御寫眞

○皆さん ○お目 コト ○氣が ○實に ○次郎 ○少し ○見

○髪 ノカミ ○大そう ○段々 ○似て ○來ます ○小さい ○

時分 ○急に ○内 ○参り ○十一月八日

第五、働クコトハ人ノ本分

○度々 ○鳴イテ ○日 ○上ツタ ○皆 ○母 ○臺所 ○朝飯

○父 ○店 ○多ク ○車 ○通リ ○馬 ○新聞屋 ○牛乳屋

○家々 ○配達 ○大江 ○ノコギリ ○左官 ○針

○石屋 ○ノミ ○仕立屋 ○村 ○農夫 ○授業

○道具 ○持ッ ○メイ ○仕事 ○村 ○農夫 ○授業

○タンポ ○出ル ○時 ○學校 ○一同 ○事務

○役所 ○會社 ○練兵場 ○上 ○下 ○向ヒ ○旅人 ○毎日

○取リ ○兵士 ○急グ ○人 ○職業 ○向ヒ ○旅人 ○毎日

○停車場 ○急グ ○人 ○職業 ○向ヒ ○旅人 ○毎日

○働イテ ○食物 ○買ハレ ○着物 ○幸福 ○自分 ○

○産ミ出ス ○外 ○何 ○遊ンデ ○樂ナ ○見エ ○却ツテ

○苦シ



○聞いて ○近年 ○麥 ○少い ○思ひ ○出し ○君  
 ○白い ○實際 ○居る ○顔附 ○カホノ ○問返し ○キキカ ○答へ  
 ○大へん ○仕合 フク ○毎年 ○一羽 ○來ない ○若し ○外  
 の ○毎朝 ○早く ○歸つて ○此の ○其の

第八、白雀(二)

○次の ○早く ○起き ○若し ○居は ○屋敷 ○野原 ○方  
 ○行つて ○影 ○形 ○歸つて ○見る ○自分 ○家 ○戸  
 ○誰 ○様子 ○日 ○高く ○上つて ○牛小屋 ○牛 ○鳴  
 いて ○草 ノタベモノ ○中 ○下男 ノオトコ ○窓棧 △ギノハイツ  
 テ井ルタハラ

○裏門 ○出て ○來まし ○水車場 ○メナツクトコロ ○行く ○方へ  
 ○居酒屋 △トコロ ○此の ○男 ○酒代 ダイカ ○借 ○其の ○か  
 たり カハ ○持つ ○驚いて ○取り ○來る ○今度 ○下女 カヒノ  
 ナン ○ばけつ レルモノ ○牛小屋 ○氣 ○附け ○隣 ○毎朝  
 ○主人 ツアル ○目 ○かすめ カス ○牛乳 ○賣つて ○引つたくり  
 トリカ ○成程 ○妻 ○呼起し ○朝ね ○損 ○間に ○身代  
 ザイ ○減つて ○今 ○事 ○話し ○聞かせ ○後 ○必ず ○畑  
 ○働かせ ○自分 ○一週間 ○中 ○取返す ○心がける ○キチツケ  
 ウケン ○夜 ○晝 ○二三ヶ月 ○立つ ○前の ○友 ○來て  
 メイ





- 手 ○打つ ○音 ○聞え ○一日 ○休んだ ○事 ○時々
- 其の ○仕事場 ○前 ○立つ ○見て ○釘 ○鎌
- きたへ ヘル ○又 ○車 ○打つ ○家で ○一度 ○つるべ
- 日 ○流し ○暮方 ○働いて ○仕事 ○色々 ○話
- 自分 ○今 ○小刀 ○造つて ○元は ○少し ○人 ○知
- 刀かち ○若い ○何十本 ○大太刀 ○清め
- 小太刀 ○武士 ○たましひ ○身 ○清め
- 一心不亂 ○若い ○打つた ○何時も ○丈夫
- 老人 ○去年 ○暮 ○死んで ○時分 ○奉公 ○行
- つて ○居つた ○若い ○今 ○後 ○ついで ○ケツ ○晩 ○相
- かはらす

第十一、花ごよみ  
イチ子ンチハナノシユンニカキナラ  
ベテヨヨミノヤウニカイタモノデス。

- 年 ○福壽草 ○黄金 ○色 ○暖く ○かをる ○梅
- が香 ○鳴かぬ ○里 ○ひな ○祭 ○桃
- 花 ○ほころびそめて ○山々 ○櫻 ○咲け ○梨
- すも ○皆 ○一時 ○紅白 ○花 ○うるはし
- 野 ○山 ○新緑 ○風

○藤波 フザノハナガナミノ

○垣根 カキネ

○白蓮 ビヤクレン

○月見 ツキミ

○近づく チカク

○涼し スズシ

○夕暮 ユフグレ

○萩 ハギ

○うねり フカレテ井ルウヘニ

○かるかや ホノア

○君 キミ

○おや オヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○さわぐ ザハザハ

○いさぎよく キモチ

○うねり ナミノヤウニカセニ

○かるかや ホノア

○中 ナカ

○君 キミ

○おや オヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○時 トキ

○咲く サク

○うねり ナミノヤウニカセニ

○かるかや ホノア

○中 ナカ

○君 キミ

○おや オヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ツタヤウス

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

第十二、マツチ

○千代八千代 チヤヤチヤ

○木々 キキ

○北風 キタカゼ

○寒さ サムイ

○うらがれて ウラガレテ

○びは ヒハ

○年 トシ

○幕 クル

○イッソ イツソ

○マニカ マニカ

○一ダース イツダース

○如ク カドク

○安キ ヤス

○便利 ベニリ

○思ハ オモハ

○此ノ コノ

○昔 ムカシ

○思ヒ オモヒ

○用ヒ モチ

○今更ニ イマさら

○三四銭 サンシツゼン

○一箱 イツハコ

○三四厘 サンシヨウリン

○少カル シウカル

○我等 ワレラ

○製造場 セイゾウバ

○頭 アたま

○手數 テガサ

○其ノ ソノ

○見 ミ

○三ツケ ミツケ

○近づく チカク

○萩 ハギ

○うねり ウネリ

○かるかや カルカヤ

○中 ナカ

○君 キミ

○おや オヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ニコリ

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

○にこり ニコリ

○月見草 ツキミクサ

○や ヤ

○かきつ カキツ

○池水 イケミヅ

- 出シ ○製ス ○等 ○數へ ○上グ ○何十人 ○人手 ○要ス
- 知ラ ○之ヲ ○一本 ○使フ ○今 ○凡ソ ○百年前
- 外國 ○發明 ○我が國 ノクニ ○初ハ ○モツバラ ガイ ○輸
- 入品 ツチキダシナモノ ○用ヒ ○明治八年 ○内地 ノクニ ○今日
- 盛ニ ○輸出 ○一年間 ○二千萬圓 ○金高 ○達シク
- 輸出品 リダスシナモノ ○重要 セシ ○一ツ

第十三、火事

- 鳴る ○遠く ○空 ○火のこ ○花火 ○散つて
- 弓張 ○持つて ○走る ○人 ○後 ○飛んで ○行く ○火元
- 裏町通 ○材木屋 ○本町通 ○抜け ○角 ○呉服屋
- 焼ケ ○火 ○勢 ○一そろう ○強く ○又 ○隣
- 知れ ○火事場 ○聲 ○聞え ○長い ○天氣 ○上
- 今夜 ○此の ○風 ○焼ケ ○分ら ○仕合 ハヒ ○風上 ノフ
- 安心 ○叔父 ○下火 ○見まひ ○歸つて ○話 ○二時間
- 四五十戸 ○焼ケ ○見まひ ○歸つて ○話 ○米屋
- 土藏 ○二棟 ○中 ○一棟 ○役場 ○幸 ハセ
- 一切 ○書類 ○記録類 ○皆 ○一日 ○無く ○毎日
- 食物 ○にたき ○種々 ○工業 ○力 ○要す

- 數へ
- 程
- 多い
- 大きな
- 動く
- 汽車
- 汽船
- 走る
- 皆
- 利用
- 有用
- ヤクニナル
- 大へん
- 事
- 出来る
- 聞けば
- 小屋
- 多分
- 煙草
- すひがら
- 元
- 一服
- 大火事
- 實に
- 恐ろしい
- 取扱
- 大切

第十四、電報

- 父
- 東京
- 火事見まひ
- 来た
- 一郎
- 早く
- 伯父
- 分つた
- 近年
- 大火事
- 誰か
- 打つ
- 今朝
- 新聞
- 出た
- お分り
- 御安心
- 様に
- 返事
- 上げ
- お前

- 一つ
- 書いて
- 少し
- 長過ぎる
- 文
- 成るべく
- 短く
- 焼け
- 事
- 及ばない
- 又
- 昨夜
- 御存じ
- 十
- 五字
- 一音信
- 數へ
- 名
- 和田
- 頼信紙
- お出し

第十五、藤原鎌足

- 今
- 千二百年
- 昔
- 皇極天皇
- 御代
- 蘇我入鹿
- 勢
- ホシイママ
- 父
- 蝦夷
- 共
- 不忠
- フルマヒ
- 多カリ
- 中臣鎌足
- ウレヘ
- バイン
- 國
- 入鹿父子
- ノゾカン
- 思ヒ
- 立チ

○此ノ ○中大兄皇子 シノナマヘ ○申ス ○皇子 タイシ ○早ク  
 ○其ノ ○人トナリ ガラ ○奉リ ○大事 ○成ス ○他ニ ○道  
 ハサ ○思ヒ ○未ダ ○近ヅキ ○折 ○得ザリ ○日 ○寺  
 ○ケマリノ會 ソブクワイ ○給ヒ ○參リ ○合セ ○御遊 ○之  
 ○拾ヒ ○ヒザマヅキ テスハル ○サ、ゲ ツル ○之ヲ ○受ケ  
 ○給ヘ ○親シミ ツク ○得 ○同志 カンガヘテヒ ○カタラヒ ツテ  
 ○時 キシ ○待テリ ○サル程ニ サウシテ井 ルウチニ ○三韓 センノコト ○使  
 ○ミツギ ヒモノ ○參内 サカガヒ ○以テ ○アラカジメ ヲテ ○手  
 ハズ エン ○大極殿 ナマヘ ○侍ス スハル ○命ジ ツケ ○宮門 ノモン

○閉ヂ ○長キ ○物カゲ カゲノ ○弓矢 ○持ッ ○御後 ○一人  
 ○御前 ノオンマヘ ○進ミ ○表文 テノモンク ○讀ム ○手 ○ワ  
 ナ、キ ルスル ○聲 ○何故ゾ タノダ ○問ヘ ○近ウシテ ソレオホイ  
 ○答フ ○他ノ ○二人 ○間 ○討ッ スコロ ○恐レ ○今 ○タ  
 メラハバ テ井レバ ○事 ロミ ○コラヘカネテ カネテ ○肩 ○見テ  
 ○他 ○足 ○殺サレ ○蝦夷 ○家 ○自殺 ○後 ○位  
 ○天智天皇 ノナマヘ ○即チ ○御方 ○功 テガラ ○重ク ○用ヒ  
 ○大臣 モイヤク ○姓 ミヤ ○一門 タイヘガラ

第十六、鳥

- 様 ○大空 ○飛び ○他 ○食ふ ○氣候 ○所 ○總へ
- つばさ ○大きい ○又 ○七面鳥 ○小さい ○鶴 ○くひな
- 水上 ○居て ○高く ○飛ば ○飛鳥 ○鳥
- 水 ○中 ○はぎ ○長 ○駝鳥 ○走る ○馬
- 類 ○一番 ○卵 ○子供 ○頭程 ○平たく ○先
- 空 ○必要 ○首 ○大てい ○併し ○短く ○平たく ○先
- 圓く ○陸鳥 ○細く ○上 ○ことに ○類 ○鋭く
- や、 ○太い ○目 ○最も ○恐ろし ○類 ○割合
- 尾 ○山鳥 ○時時 ○扇形 ○若し ○家 ○座敷 ○一
- 天井

第十七、近江八景

- 琵琶 ○形 ○似 ○其の ○名 ○おへる ○湖
- 八つ ○景 ○水 ○面 ○あかぬ ○ながめ ○
- 入日 ○美し ○栗津 ○松 ○色 ○はえて
- 空 ○のぎげさよ ○石山寺 ○秋 ○月 ○雲 ○を
- 清し ○春 ○先 ○咲く ○花 ○比良
- 渡り ○見ん ○瀬田の橋 ○かたやく
- 八つ ○景 ○水 ○面 ○あかぬ ○ながめ ○
- 入日 ○美し ○栗津 ○松 ○色 ○はえて
- 空 ○のぎげさよ ○石山寺 ○秋 ○月 ○雲 ○を
- 清し ○春 ○先 ○咲く ○花 ○比良

- 高ね タカイ
- 暮 クレ
- 雪 ユキ
- 滋賀唐崎 シガカサキ
- 一つ イツ
- 松 マツ
- 夜 ヨル
- 雨 アメ
- 名 ナ
- 得 エ
- 墜田 カタタ
- 浦 ウラ
- 浮御堂 ウキミドウ
- 來る ク
- かり トリノ
- ナマヘ
- ふせい オモ
- 三つ ミ
- 四つ ヨ
- 五つ イツ
- 連れ ツレ
- 矢走 ヤハヒ
- 歸り カヘ
- 行く ユク
- 白帆 シラハ
- イホ
- 送る オク
- 夕風 ユウカゼ
- 聲 コエ
- 程近し ハジカチ
- チカイ
- 三井 ミヅ

第十八、木綿着物ノ由來 モめんぎものゆらい  
モメンノキモノノモトノオ  
コリガクワシクカイテアル。

- 皆 みな
- 着物 きもの
- 織物 オリもの
- 造り つく
- 絲 いと
- 機 はた
- スルキカイ
- 織ツテ
- 出來 でき
- 綿 わた
- 機械 きかい
- ツムグ イトニス
- ルコト
- 何 なに
- 木 き
- 又 また
- 畑 はたけ
- 作り つく
- 種 たね
- 蒔ク ま
- 五月頃 ごがつころ
- 七月頃 しちがつころ
- 花 はな
- 咲イテ さ
- 九月 くがつ
- 十月 じゅうがつ
- 初頃 はじりころ
- 實 み
- 熟シ じゆく
- サケテ サケテ
- 中 なか

- 白イ ハミ出シ
- ハミ出シ テアル
- 種 タケ
- 取去ル トケ
- 紺 アヲ
- 淺黄 アヲ
- 其ノ
- 他 ほか
- 色々 いろいろ
- 縞 しま
- アキ イロノ
- 染メ ソメ
- 又 また
- 所々 ところどころ
- 殘シ のこ
- 縞物 しまもの
- リモノ
- 藍 あゐ
- 何 なに
- 草 くさ
- 同ジ おな
- 様 よう
- 畑 はたけ
- 作り つく
- 葉 は
- 莖 くき
- 二月 にがつ
- 六月 ろくがつ
- 刈取ル かりと
- 細カク こま
- キザンデ カダ
- イテ
- 日 ひ
- 入レ い
- 藍玉 あゐだま
- 水 みづ
- 紺色 こんいろ
- 汁 じゆ
- 白絲 しろいと
- シロイ
- 白布 しろぬの
- シロイ
- キレ

第十九、手紙 てがみ

- 小ごう テッ
- 主人 しゆじん
- ツアル
- 謹んで つし
- 申し まを
- 上げ あ
- 取分け とりわけ
- 中 なか
- 一週間 いっしゅうかん
- 有りがたう あ
- 存じ ぞん
- 病中 びやうちゆう
- ヤマイデ
- ネテ井ル



○祖母 オバア ○大そう ○涙 なみだ ○居り ○初 はじめ ○熱 ねつ ○高い  
 ○一時 いちじ ○心配 しんぱい ○昨朝 さくちやう ノアサ ○熱 ねつ ○下つて ○食事 しょくじ モノ ○進み  
 ○一先 ひきまづ ○安心 あんしん ○併し しあ ○老病 らうびやう ヤマイ ○事故 ごとゆえ カラ ○大事 だいじ ○存じ  
 ○祖母 そぼ ○一人 ひとり ○孫 まご ○事 こと ○御座い ○勝手 かたて ナガマ ○御願 おねがひ ○今  
 ○四五日 しごにち ○願ひ度う ○二月四日 にがつよつか ○浅吉 あさきち ○御主人様 ごしゆじんさま ○主人 しゆじん  
 から小ぞうへ ○其の後 そのご ○思つて ○手紙 てがみ ○見て ○安心 あんしん  
 ○方 ほう ○都合 つごう ○心配 しんぱい ○及び ○五日 いつつか ○十日 じゅうか ○一人 ひとり ○ね  
 起き おき キタリ ○出來る で ○看病 かんびやう ○お上げ ○此の この ○金 かね ○僅 わずか ト  
 ○可 な ○物 もの ○買つて ○下さい ○六日 むいか ○井止 いど 勘藏 かんざう

第二十、胃と身體

○ある時 ○口 ○耳 ○目 ○手 ○足 ○等 ○一同 ナ  
 ○申し合せ ソウダ ○胃 ○向つて ○我等 ○働け ○汝 ○坐し  
 ○食ふ ○少し ○報ゆる チンガ ○所 ○今日 ○止む ○左様  
 ○心得 シヨ ○後 ○食事 ドキシ ○知らせ ○聞き ○風 ふう リフ ○食  
 物 モノ ○見 ○過し ○入る ○食堂 シヨクドウ ルトコロ ○行く ○二  
 三日 ○鳴り ○暗み ○なえて チシマツテチカラ ○動く ○皮膚  
 ○色 ○青ざめ ○全く ○力 ○日く ○諸君 ○坐し ○者  
 ○職務 メツト ○之を ○血 ○製造場 ヨシチハル ○送る ○若し

- 全身ぜんしん カラダ
- 養ふやしな テル
- 如何いかに
- 得らるべきとルコトガ テキヤウ
- 苦しくる
- 數日間すうじつかん
- 少しすこ
- 故ゆえ
- 新しあた
- 出來できず
- 皆みな
- 却つてかへ
- 自らみづか
- 招く所まね サイナナン
- 今いま
- 誤れるあやま マチガツ
- 勞らう
- しホネチ ツタ
- 親密しんみつ ナカ
- 暮すくち
- 世よ
- 相持あひもち ラシ
- 成程なるほど
- 感心かんしん

第二十一、虎ト猫

- シヨウコアカ
- 竹たけ
- 書イテか
- 最モもつぎ ヒジヨ
- 相似あひに タ
- 獸けだもの
- 短クみぢか
- 首くび
- 太シよど
- 物もの
- 力ちから
- 強クつよ
- 他た カホ
- 獸類じゅうるい ダケ
- モノノ
- 時とき
- 之ヲこれ
- 運ビはこ
- 去ルさ
- 便ナリべん リベン
- 足あし
- 前足まへあし
- 一撃いちげつ
- 鹿しか
- 猫ねこ
- 如シごと
- 先さき
- 銳クすまじ
- 曲レルまが
- 爪つめ

- 用ナキ
- 之ヲ
- 相同あひな シ
- 上下じやうげ
- 二本にほん
- 牙は
- 肉にく
- 適た
- スガヨイ
- 又また
- 其ノその
- 舌した
- 内方ないほう ハウ
- 向ツテむか
- 毛け
- 如キごと
- 骨ほね
- 附キつ
- 食取くひぎ ル
- 裏うら
- 歩ムあゆ
- 音おと
- 立テた
- 他獸たじう ダモノ
- 近ヨリちか
- 急ニきう
- 飛ビと
- 捕フとら
- 木き
- ヨ
- チ上のほ ル
- 得う ル
- 此ノこ
- 外ほか
- 目め
- 鼻はな
- 耳みみ
- 形かたち
- 尾お を
- 長クなが
- 所ところ
- 甚はなダ
- 多シおほ
- 毛色けいろ
- 黒くろ
- 白しろ
- 三毛みけ
- 様々さまざま イロ
- 一様いちよう ナシ
- 中うち
- 虎猫とらねこ

第二十二、世界の話(一)

- 我が
- 大日本帝國だいにほんていこく
- アジャ大陸たいりく アジャ洲アジャ オホ
- 東ひがし
- 海中かいちゆう

- 島國
- 我等
- 若し
- 汽船
- 乗り
- 港
- 出で
- 東
- 進み
- 行かば
- 凡そ
- 二週間
- 後
- 着く
- 北
- 南
- 分る
- 合衆國
- 國
- 農業
- 工業
- 商業
- 共
- 盛
- 甚だ
- 富めり
- 此の
- 最も
- 都會
- 汽船
- 乗り
- 如き
- 海軍
- 強く
- 商船
- 多し
- 首府
- 都市中
- 人口
- 等
- 早く
- 工藝
- 美術
- 學問
- 開け
- 美し
- 都
- 隣國
- 東北
- 學問
- 開け
- 東部
- 領地
- 甚だ
- 廣く
- 一部
- 印度
- 支那
- 韓國
- 向はば
- 日本
- 歸着
- 得
- 鐵道
- 地中海
- 過ぎ
- 印度洋
- 渡り
- 如く
- 西
- 船
- 中間
- 海
- 越え
- 陸
- 元
- 來る
- 同じ
- 圓さ
- 出で
- 平たき
- 程
- 出發點
- 遠ざ
- 若し
- 物

第二十三、世界の話(二)

- 我等
- 住む
- 圓さ
- 故
- 名づけ
- 地球
- 表面
- 凡そ
- 三分の二
- 海
- 陸
- 南北
- 兩半球
- 陸地
- 多し
- 分てば
- 北半球
- 南半球
- 陸地
- 時
- 候
- 全
- 相反
- 夏
- 冬
- 百
- 花

- 咲き ○蝶 ○飛ぶ ○春 ○時節 ○木 ○葉 ○散り ○蟲
- 鳴く ○秋 ○北極 ○南極 ○近き ○地方
- 半年 ○晝 ○夜 ○所 ○氣候 ○寒冷 ○如き ○美し
- 花木 ○見る ○能はず ○土人 ○年中 ○甚だ
- 以て ○家 ○造り ○住め ○又 ○中 ○人 ○皆
- 暑く ○少し ○氷雪 ○知ら ○地方 ○人 ○皆
- 布片 ○身體 ○一部 ○過さず ○雪月花 ○折
- 大部分 ○冬 ○甚だしく ○寒からず ○雪月花 ○折
- 節 ○面白く ○山川 ○風景 ○うるはし

第二十四、橋中佐(一)

- 住む ○人類 ○カズ ○總數 ○十六億 ○人種
- さまじく ○イロ ○大むね ○皮膚 ○白く ○髪
- 赤く ○眼 ○色 ○青し ○黒く ○髪 ○黄
- 明治三十七八年 ○戦死 ○トゲ ○軍人 ○大ゼイ ○中
- 名譽 ○アル ○戦死 ○シニ ○トゲ ○軍人 ○大ゼイ ○中
- 海軍 ○廣瀬中佐 ○陸軍 ○二人 ○軍神 ○皇太子
- 殿下 ○カノオニコト ○御附武官 ○井ルサムライ ○日頃 ○御信任
- デシヨウ ○人 ○八月 ○大隊長 ○戦地 ○向